



## 経営トップ

### 株式会社 okicom

日々変化するニーズに応えられるノウハウ集団として、  
ミライ企業をめざします

## 起業家訪問 An Entrepreneur

### 株式会社リュウクス

RRI No.120

 琉球銀行

 りゅうぎん総合研究所



※目次(CONTENTS)の各タイトルをクリックするとそのページにジャンプします。

## CONTENTS

|  |   |
|--|---|
| <p><b>経営トップに聞く</b> <span style="float: right;">01</span><br/> <b>株式会社okicom</b><br/>           ～日々変化するニーズに応えられるノウハウ集団として、ミライ企業をめざします。～<br/>           代表取締役社長 小渡 玠</p>   |  |
| <p><b>起業家訪問 An Entrepreneur</b> <span style="float: right;">06</span><br/> <b>株式会社リュウクス</b><br/>           ～コンクリートの高耐久化と長寿命化を実現する高品質フライアッシュを開発～<br/>           代表取締役社長 謝花 一成</p>   |  |
| <p><b>新時代の教育研究を切り拓く</b> <span style="float: right;">08</span><br/>           ～ADHDの障害を持つ児童を理解するために～<br/>           沖縄科学技術大学院大学コミュニケーション・広報ディビジョン メディアセクション<br/>           (同大学のHP記事より転載)</p>   |   |
| <p><b>OCVBの取り組みについて</b> <span style="float: right;">10</span><br/>           ～県知事への沖縄観光振興に関する提言について～<br/>           一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー</p>   |   |
| <p><b>アジア便り 香港</b> <span style="float: right;">14</span><br/>           ～香港における観光、広告産業の現状について～<br/>           レポーター: 村井 俊秀(琉球銀行)<br/>           沖縄県香港事務所に出勤中(副所長)</p>  |   |
| <p><b>りゅうぎんビジネスクラブ</b> <span style="float: right;">17</span><br/>           ～「りゅうぎんビジネスクラブ」入会のご案内～<br/>           ～「第6期りゅうぎんマネジメントスクール(第3回)」を開講しました～</p>   |   |
| <p><b>行政情報80</b> <span style="float: right;">20</span><br/>           沖縄総合事務局経済産業部の最近の取組等について<br/>           内閣府沖縄総合事務局経済産業部</p>   |   |
| <p><b>県内大型プロジェクトの動向77</b> <span style="float: right;">22</span></p>  |   |
| <p><b>特集 沖縄県内における2016年プロ野球春季キャンプの経済効果</b> <span style="float: right;">24</span></p>  |   |
| <p><b>沖縄県の景気動向 (2016年5月)</b> <span style="float: right;">30</span><br/>           ～観光関連の入域観光客数や消費関連の百貨店売上が前年を上回り、建設関連も公共<br/>           工事が好調に推移しており、県内景気拡大の動きは21カ月連続で強まっている～</p>  |   |
| <p><b>学びバンク</b> <span style="float: right;">42</span><br/>           ・宜野湾市「はごろも祭り」 ～需要生む一大イベント～<br/>           琉球銀行普天間支店長 比嘉 良明(ひが よしあき)<br/>           ・与那原町総合戦略 ～銀行のノウハウで支援～<br/>           琉球銀行与那原支店長 平良 吉彦(たいら よしひこ)<br/>           ・那覇市古島地区 ～交通環境整い魅力向上～<br/>           琉球銀行古島支店長 粟国 修(あぐに おさむ)<br/>           ・銀行とシステム ～常に変化 経営戦略の要～<br/>           琉球銀行総合企画部共同化推進室調査役 仲西 圭(なかにし けい)</p> |   |
| <p><b>経営情報 災害に関する費用の主な税務上の取り扱い</b> <span style="float: right;">44</span><br/>           ～災害に関して、法人、個人が支出する費用の取り扱い～<br/>           提供 太陽グラントソントン税理士法人</p>   |   |
| <p><b>経済日誌 2016年6月</b> <span style="float: right;">45</span></p>   |   |
| <p><b>県内の主要経済指標</b> <span style="float: right;">46</span></p>  |   |
| <p><b>県内の金融統計</b> <span style="float: right;">48</span></p>  |   |

経営  
トップに聞く日々変化するニーズに  
応えられるノウハウ集  
団として、ミライ企業  
をめざします。

株式会社 okicom

株式会社 okicom

おど かい  
小渡 玠 社長

1980年1月、6人で立ち上げた沖縄コンピュータ販売株式会社がスタートになる。1985年に小渡氏が社長に就き事業を拡大、昨年4月に社名を株式会社okicomへ改め、新たな成長ステージに立った。経営理念、ビジョン、社是、社訓を共有することで個々の力を引き出し、組織の力を高める。宜野湾市大山の本社をお訪ねし、小渡社長にこれまでの歩み、事業内容、経営理念、これからの取り組みなどをお聞きした。

## インタビューとレポート 照屋 正

すると1年目で営業成績日本一に。その後も毎年、目標を達成していったのです。

この経験から多くのことを学びました。まず、ものごとの向き不向きはやってみなくては分からないこと。そして、一生懸命に取り組めば、結果がついてくること。それが自信になり、前向きに考え、行動するようになること。その後の会社経営に役立つ貴重な経験を、このときに積むことができたと思います。

ところが入社して5年目にオリベッティが沖縄から撤退することになります。営業所内では「購入していただいたユーザーの皆さまを残して簡単に撤退するわけにはいかない」と、私を含めて6名で会社を立ち上げることになりました。こうして1980年1月に設立したのが、沖縄コンピュー

**1980年に沖縄コンピュータ販売株式会社を設立され、昨年4月に社名を株式会社okicomへ改めました。さらなる成長への思いが伝わります。御社の設立経緯から今日までを振り返ってお聞かせいただけますか。**

私は大学を卒業後、日本オリベッティ株式会社に1976年に入社しました。同社はイタリアに拠点を置く情報処理機械の製造・販売会社です。社員教育にとっても熱心な会社で、約1年間の研修を受けた後、那覇営業所に配属されました。

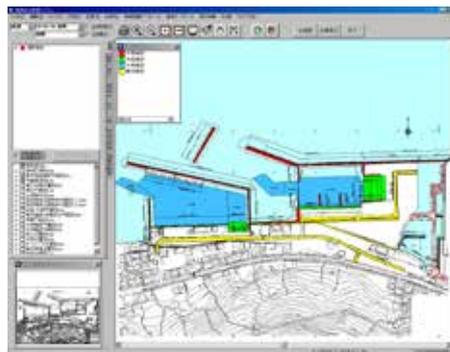
就職の際は、エンジニアを希望していたのですが、採用は技術系の営業職。私自身、営業にそれほど向いているとは思っていませんでしたが、「まずは与えられた仕事をしっかりこなそう」と、とにかく無我夢中で1年間、仕事に打ち込みました。



日本オリベッティ株式会社那覇営業所の頃



ニーズをとらえた質の高いサービスを提供する



漁港台帳GIS（地理情報システム）



ドローンを活用する技術講習会

夕販売株式会社です。場所は那覇市松山、オリベッティ那覇営業所のあったオフィスです。

設立当初の業務は、オリベッティ時代に販売したシステムの保守・メンテナンスや、新しい商品の販売が中心でした。もちろん売り上げはすぐには増えず、苦勞の毎日です。しかし、当時の最大の課題は、組織の統率にありました。社長職は先輩から順に初代3年、2代目2年と務めたのですが、なかなかうまく仕組みが築ききれないでいたのです。

この大きな課題を背負いながら、私が3代目の社長に就任したのが1985年1月です。私はこのとき「社長の仕事とは、会社が進むべき道を明確に示すこと。そのためには、経営理念とビジョン、戦略づくりが大事」と考え、これらの策定に力を注ぎ、そして率先して実行するように努めました。

こうして、ようやく社内の体制が整い、事業も軌道に乗りはじめたわけですが、このとき改めて思ったのが、経営の指針をきちんと持つことが組織運営には不可欠だということでした。

その後、事業は好不調を繰り返しながらも拡大を続け、2000年には社員数が50名あまり、売り上げも当初の1億円から7億円と大幅に伸びるまでに成長しました。

事業内容もステップアップを図りました。他社製品の販売やサポートだけでなく、オリジナルソフトの開発も加えていったのです。その最初の核となった商品が、1980年後半から2000年前半にかけて多くのユーザーを獲得した土木専用CAD（コンピュータを使った設計・デザイン）でした。その後も、ニーズをとらえた商品を数多く開発してきましたが、最近ではGIS（地理情報システム）を使ったシステム開発が需要を伸ばし、主力商品に育っています。

GIS商品は、もちろん大手企業もいろいろと開発しています。そんな中で当社は、ニッチなフィールドで高い競争力を持つ商品を開発し、特定のマーケットの獲得に成功しています。とくに自治体の施設管理などに広く利用され、県外の自治体の導入も増えはじめました。今後も当社の核となる商品として伸ばしていきたいと考えています。

当社は現在、社員が63名。組織は大きく営業部門、開発部門、保守部門の3つで構成しています。保守・メンテナンス事業は、お客さまとの長い信頼関係を支える大事な役割を担っており、とくに重要な部門に位置づけています。

営業所は、那覇支店、浦添支店、沖縄支店を置き、関連会社として有限会社ティディエスアンツ



ドローンの活用を進める



早朝会によって個々の力を高める



ドローンを使った空撮



朝礼の円陣で1日がスタート

を持っています。

昨年4月、社名を「株式会社okicom」（オキコム）へ改めました。従来のソフト開発や保守事業に加えてコンサルタント事業を充実させ、時代の求めるIT企業へ進化する、そうした思いが込められています。

**事業は大きく3つに分かれています。それぞれの概要を教えてください。**

#### ■GIS企画・開発・コンサルティング

GISとは、位置や空間の情報を重ね合わせて視覚化し、管理・分析を行うシステムです。例えば、漁港の施設管理で、これまで別々の台帳で管理していた情報を一元的に、しかも視覚化して表示することができるようになり、これによってさまざまな分析やシミュレーションが可能になり、効果的に課題解決が図れるようになります。

当社のGIS商品は、自治体の施設管理や防災対策、一般企業の顧客管理やマーケティングなど幅広く活用され、需要も増えています。開発商品の一部を紹介すると、次のとおりです。

#### ＜漁港総合管理システム＞

施設、工事、埋め立ての履歴といった台帳情報や図面、写真などを一元的に管理するシステムで

す。県をはじめ多くの市町村で導入していただいています。

#### ＜上水道・下水道管理システム＞

埋設された管路の図面化や漏水、断水のシミュレーションなどができ、より質の高い管理が可能になります。

そのほかに、マーケティングシステムとして、顧客情報を人口分布や営業エリアに重ねて視覚化し、営業戦略の分析ツールに活用する事例などがあります。

#### ■ソフトウェア開発

お客さまの希望するシステム環境や業務ツールを開発、提供しています。これまでの開発実績には、「タブレットによる営業日報・販売管理システム」「製造業向け生産・販売管理システム」「観光型文化財情報アプリ・WEBシステム」などがあります。

#### ■ITインフラ構築・保守サービス

業務にもっとITを活用したいというお客さまに、システム構築から運用・保守まで一括してお任せいただけるサービスを提供しています。①お客さまの会社の現状分析、②改善案策定、③調達・構築、④運用保守、という手順でお客さまのご要望にきめ細かく対応し、ITインフラを構築します。



「日々変化するニーズに応えられるノウハウ集団として、ミライ企業をめざします」

### 変化の激しい業界にあって、新しいことへ挑戦し、ニーズに対応した商品をつくり続けています。御社の強みや特徴をお聞かせください。

新しい商品やサービスを生み続けるには、失敗を恐れずに前向きに挑戦する組織でなくてはなりません。そのためには、人材が集まり、それを育てる環境が重要になります。当社はこうした環境づくりに早くから取り組み、優先して力を入れてきました。

ここでは、当社の特徴ともいえる、人を大事にする社風について少しお話ししたいと思います。

当社は毎年、一定数の新卒者を正社員として採用しています。過去には業況の厳しい時期もありましたが、それでもがんばって採用を続けてきました。そのおかげで安定した組織運営が可能になり、技術が積み重ねられ、その基盤のもとに挑戦する社風が築かれてきました。

社員との面接を重視しているのも、当社の特徴です。社員の成長をサポートする目的で、定期的に私が一人ひとりと面接を行います。じっくりと2時間あまりかけて行うのですが、経営理念や価値観、考え方を分かりやすく説明しながら、社員の話にしっかりと耳を傾けます。押し付けはしません。面接では「社員にいかに気付きのスイッチ

が入るか」がポイントと考えています。社員に期待像が理解されて自覚が生まれると、目に見えて成長していくのが分かります。

また、当社は「従業員満足」をととても大事にしています。働きやすい環境、やりがいのある職場づくりは、その基本といえます。例えば当社には、新卒で入社して社内結婚し、産休、育休を取得。子育てをしながら係長、課長、部長とキャリアを積んでいる女性がいます。このように安心して働ける環境のもとでは、能力を存分に発揮することができるのではないのでしょうか。

「再雇用」についても独自の方針を決めています。当社に入社したものの、他にやりたいことがあって辞める人がいます。ところがよそに行ってみて、やはり当社で働きたいという人に対して、再雇用の機会を提供しています。

### 経営理念、ビジョンについてお聞かせください。

#### 経営理念

私たちは チャンスは考働する者にのみ平等であることを理解し、日々、自己研鑽に励み準備を怠らない（運命自招）

私たちは 信用を重んじ、社会に役立つことを大きな喜びとする（尊己及人）

## 法人概要

商号：株式会社 okicom  
 所在：沖縄県宜野湾市大山 1-17-1  
 連絡先：098-898-5335  
 設立：1980年（昭和55年）1月10日  
 役員：代表取締役 小渡 玠  
 専務取締役 裁 正巳  
 常務取締役 垣花 政信  
 従業員数：63名（パート含む）  
 事業内容：IT 関連の総合コンサルティング  
 保守サポート  
 GIS（地理情報システム）  
 ソフトウェアの企画開発 ほか  
 営業所：那覇支店、浦添支店、沖縄支店  
 関連会社：有限会社ティディエスアンツ



職場の活力はチームワークから



社内イベントが和を育む

## ビジョン

「沖縄発本土行き、海外行き」  
 …オリジナル商品を持つ

まず、経営理念の前段は、次のことを意味しています。

コツコツと努力している人、前向きに仕事に取り組んでいる人を、上司はちゃんと見ています。そういう人には、必ず飛躍のチャンスが訪れます。ただ、チャンスをつかみ取れるかどうかは、その人自身の実力や能力にかかっています。チャンスはいつ来るか分かりません。ですから、日頃から自己研鑽に努め、準備を怠らないことが大切だということです。

経営理念の後段とビジョンには、次の意味が込められています。

「信用を重んじる」とは、お客さまの信頼にしっかりと応えることです。そのためには、社員にとって会社が誇りと働きがいのある存在でなければなりません。「良い仕事を行い、それが社会の貢献につながり、喜びを感じる」、これを体験できる会社です。

それを実現するには、いかにやりがいのある仕事をつくるかがカギになります。私はそれが「沖

縄発本土行き、海外行き」の商品づくりだと考えているわけです。ですから、当社はオリジナルな商品の開発にこだわるのです。

**新しい社名になり、さらなる飛躍をめざしています。これからの事業の展開について、お考えをお聞かせください。**

私たちの業界は、ハードやソフトを販売する時代から、ITに関わるコンサルティングサービスを提供する時代へと移っています。

こうした中で当社は、営業部門が経営コンサルタントの役割を担い、技術部門と相乗効果を発揮しながら、お客さまの課題を解決する取り組みにこれまで以上に力を入れたいと考えています。

当社は「ミライ企業」をめざすと宣言しています。企業が勝ち残るには、変化に応じて新しいものを次々と生み出す、そんな力が求められます。その力とは、無限の可能性に挑戦する姿勢です。「ミライ企業」とは、無限の可能性に生き生きと挑戦し続ける企業であり、当社はそれをめざしています。

## 株式会社リュウクス 株式会社リュウクス

コンクリートの高耐久化と長寿命化を実現する高品質フライアッシュを開発。最新装置を導入して生産体制を整え、民間、公共ともに需要を増やしている。



じゃはな かずなり  
謝花 一成 社長

### 事業概要

|       |                               |
|-------|-------------------------------|
| ○代表者  | じゃはな かずなり<br>謝花 一成            |
| ○設立   | 2012年1月11日                    |
| ○事業内容 | 加熱改質フライアッシュ（高品質フライアッシュ）の製造・販売 |
| ○場所   | 沖縄県うるま市州崎7番地22                |
| ○TEL  | 098-939-1181                  |
| ○従業員  | 8名                            |

### フライアッシュとは

フライアッシュとは、石炭火力発電所の排煙から捕集された石炭灰の一部の微粉末のことで、コンクリートに混ぜると強度が高まるなどの働きを持ちます。飛灰とも呼ばれます。

石炭灰は、もともと発電の際に発生する廃棄物です。しかし、加工することで非常に利用価値の高い資材になることがわかり、研究が重ねられ、フライアッシュとして商品化が試みられてきました。

当社は、コンクリート混和材としてより付加価値の高いフライアッシュを開発し、製造・販売しています。大学などと共同して研究を進めながら、これまでフライアッシュの課題とされていた品質の安定性を大きく改善したのが特徴で、当社では「高品質フライアッシュ」と呼び、生産体制を確立しています。

### 事業化への道のり

当社の前身は株式会社ゼロテクノ沖縄で、その親会社は大分県に拠点を置く株式会社ゼロテ

クノです。株式会社ゼロテクノがフライアッシュと関わりを持ったのが2003年です。琉球大学でフライアッシュを研究されていた教授の依頼を受け、大分大学と共同で「フライアッシュの高品質化研究」に取り組んだのがきっかけになります。

実用化に向け、2012年1月に南城市に株式会社ゼロテクノ沖縄が設立されました。私は専務に就任し、実質的な事業経営を担いながら、社屋の移転や「加熱改質フライアッシュ製造装置」の導入などを進めてきました。社長に就任したのは2016年3月です。

「加熱改質フライアッシュ製造装置」とは、フライアッシュを高品質フライアッシュへと加工するための装置で、今年の4月に導入しています。それまでは、原料の調達とその工程部分を県外で行い、沖縄へ移入して仕上げるといった方法をとっていました。同装置を導入したことで、純県産コンクリート混和材の一貫生産体制が整ったことになります。

また、6月に社名を株式会社リュウクスへ改めました。「琉球から世界へ 最先端の粒体技術で豊かな社会づくりに貢献する」という思いを込めています。

当社の製品を使用した施工の第1号は、浦添市の有料老人ホーム建設（2014年）でした。その後、国際物流拠点産業集積地域賃貸工場新築工事、与那原町東浜の浮棧橋のコンクリート製品などの公共工事や個人住宅建築などに幅広く使用されています。



うるま市州崎の本社・工場



高品質フライアッシュ



施工事例（戸建住宅）



加熱改質フライアッシュ製造装置



施工事例（有料老人ホーム）



琉球漆喰タイル

## 高品質フライアッシュの特徴

当社の高品質フライアッシュの特徴は次のとおりです。

### 1. 長期的にコンクリートの強度を増進させます

高品質フライアッシュは、ゆっくりと継続するポゾラン反応によって長期にわたって強度を増進させます。

#### ※ポゾラン反応とは

フライアッシュの粒子が、セメント成分と化学反応を起こして化合物を生成し、内部の組織を緻密化します。これによって通常のコンクリートに比べて長期にわたり強度が増進します。同時に外部からの劣化因子（塩分・水分など）の侵入を防ぎ、耐久性が時間とともに向上します。

### 2. 塩害に対して強い耐性を持ちます

ポゾラン反応がコンクリート内部の隙間を埋めることで、鉄筋の錆の原因となる塩分や水の浸入を防ぎます。

### 3. 美しい仕上がり面を提供します

細かな微粒子がコンクリートの隙間を充填し、きめが細くなめらかで光沢のある美しい仕上がりになります。

### 4. 環境に優しい材料です

発電所で発生する石炭灰の廃棄物を有効利用することで、廃棄物の排出削減につながっています。

## コンクリート補修材の開発

コンクリート建造物の多い沖縄にとって、ひび割れは大きな課題です。その補修を目的に、高品質フライアッシュを使ったコンクリート補修材の開発を進めています。現在、琉球大学に協力をいただき、最終的な科学分析を行っているところですが、完成すれば建物の修繕やリフォーム時の強力なサポート役になるはずで

## 琉球漆喰タイルで県知事賞を受賞

漆喰に高品質フライアッシュを配合し、沖縄らしさをデザインした琉球漆喰タイルを開発しました。漆喰が本来持つ調湿効果、消臭、抗菌、防カビ、耐火、断熱などを生かした健康に優しい内装タイルです。

同製品は、「第44回沖縄県発明くふう展」(2015年度)で県知事賞優秀賞をいただきました。

## 今後の取り組み

暑さが厳しく台風の多い沖縄では、コンクリートの劣化が進みやすく、その対策が課題とされています。当社はその解決の一助として高品質フライアッシュを開発し、コンクリートの耐久性の向上と寿命の長期化を実現しました。しかも、廃棄物を原料にしているため、環境にも優しい製品づくりとなっています。

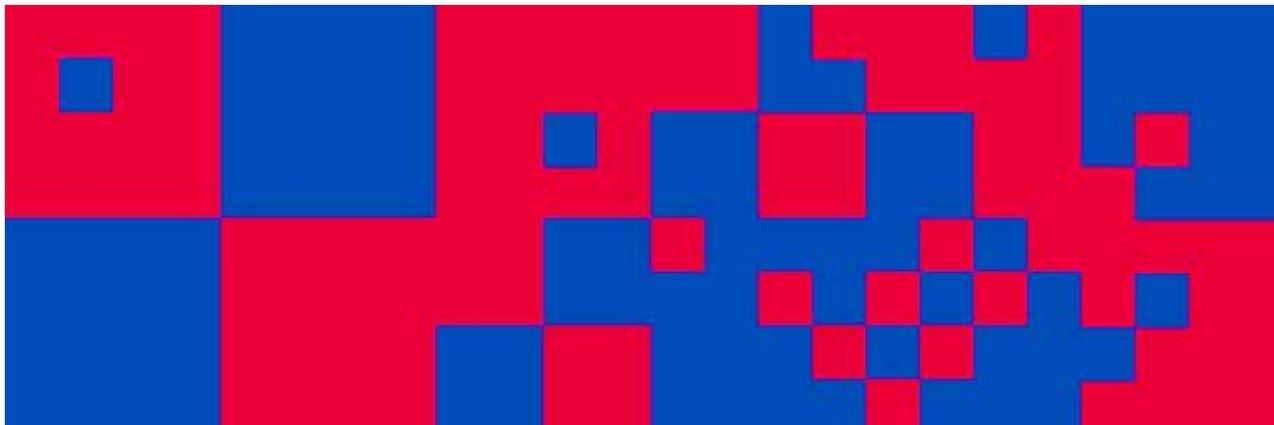
これによって沖縄に暮らす人々の生活が、ますます豊かなることを願うと同時に、今後も社会に貢献できる会社として努力を続けていきます。(レポート 照屋 正)

※沖縄科学技術大学院大学のHPから転載した記事です。

# 新時代の教育研究を切り拓く

～沖縄科学技術大学院大学の取り組みについて～

## ADHD の障害を持つ児童を理解するために



注意欠陥多動性障害（ADHD）を持つ子供たちは、その場にそぐわない行動を取ることがよくあります。授業中に教室の中で動き回ったり、絶え間なくしゃべり続けたり、他人の会話に割って入ったりすることがあります。ADHDは神経発達障害の一つで、世界各地で約5パーセントの児童がこの障害を抱えていると報告されていますが、長年多くの研究が行われてきたにもかかわらずADHDの原因は未解明のままです。日本とニュージーランドの研究者たちからなる研究チームはこの度、ADHDを持つ児童が環境変化にうまく適応することができない原因を探り、その究明に貢献しうる研究成果を *Journal of Child Psychology and Psychiatry* 誌で報告しました。

「私たちはみんな報酬を得られる行動を繰り返す傾向があります」と、論文共著者の一人で、沖縄科学技術大学院大学（OIST）発達神経生物学ユニットのゲイル・トリップ教授は言います。「自分にとって好結果をもたらす行動はどれかを学んでいるのです」。報酬を確実に得るためのガイドラインが提示されることは滅多にありません。それでも多くの人は社会生活において報酬を得られるチャンスを最大化するために、試行錯誤して様々な行動を取ろうとします。例えば、昼食時間には研究室の仲間や先生とくつろいだ会話をしていても、会議が始まると、同席するメンバーの顔ぶれは同じでも、その場の状況にふさわしい言動をとるでしょう。

ADHDを持つ子供たちの場合、周囲の環境に応じた行動を上手にとることが難しいことが多くあります。この問題を理解するために研究チームはゲームを使った実験を行い、被験者の児童には知らせずにゲームのルールを

ほんの少し変更した場合、ADHDを持つ児童がその変化に対してどのような反応を示すかを調べました。今回の実験では、日本とニュージーランド在住の英語を話す8歳から13歳までの167名の児童を対象としました。そのうち半数以上はADHDの診断基準に当てはまる児童であり、そうではない児童の反応と比較しました。ゲームの内容はシンプルで、目の前の画面上に映しだされた赤い顔と青い顔のうち、多く映っているほうの顔の色を答えてもらいました。画面には縦横10マスの枠の中に青い顔と赤い顔が映っており、どちらの色の顔が多いかを選んでボタンを押すというものです。

ゲームには一定のルールが設けられました。ゲームを始める前に、検査員は児童に対し、問題に正解するとご褒美（褒め言葉とプラスチックのコイン）がもらえるが、正解してもこのような報酬が与えられない場合もあると説明しました。ゲーム開始当初の報酬

は、「青い顔のほうが多い」ときの正答に対して与えられることが、「赤い顔のほうが多い」ときの正答に対して与えられるより4倍になるように設定しました。20回報酬が与えられた後、そのルールを逆転させ、今度は「赤い顔」が多くあるときの正答に対する報酬を4倍にしました。そのルールに従い20回報酬が与えられた後、再び頻繁に報酬が与えられるほうの回答を「青」に戻してゲームを行いました。児童には報酬のルールが途中で切り替わることは知らされていませんでした。

その結果、ADHDの障害の有無に関わらず、ゲームの最初の方で全ての児童は、まず青の回答になびくことが分かりました。赤と青のどちらが多いか不確かな場合は、報酬を多くもらえる可能性がある選択肢（青）を選ぶ傾向があったということです。やがて報酬ルールが変更されると、児童の反応に違いが生じ始めました。ADHDの症状がみられない児童は明らかに赤の回答になびき始めたのに対し、ADHDを持つ児童の行動の変化はほんのわずかしきみられませんでした。

青の正答が多く報酬が与えられるようにルールを戻すと、ADHDを持つ児童とそうでない児童の行動にはさらに大きな違いが見られました。健常児においては、報酬が多く与えられるようになった「青が多い」という回答が再び増え始めました。しかし、ADHDを持つ児童の回答にはほとんど変化が見られま

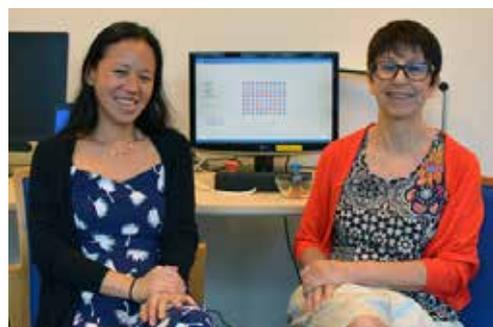
せんでした。報酬ルールが変更されるたびに、児童らは報酬を多く得るための新しいルールに直感的に適応する必要がありますが、ADHDを抱える児童は健常児と比べて些細なルールの変化に上手く適応できていないことが今回の研究で示唆されました。

「これは本当に興味深い研究結果で、ADHDを持つ児童の行動管理において重要な意味を持つものです」とトリップ教授は言います。「ADHDを持つ子供たちには、常に明確な指示を与えることが大切であると私たちは提唱しています。子供たちに状況判断を任せるのではなく、報酬を得られる条件が何であるかをはっきりと伝え、報酬を打ち切る際には、それをADHDを抱える児童等には明確に伝える必要があります」。

ADHDを持つ児童は、決して悪い子というわけではありません。不作法な振る舞いや、ルールを無視した行動を取っているように見えるかもしれませんが、それはルールの些細な変化を読み取ることが難しいことに起因している可能性があることが今回の研究で示されました。「あらゆる状況下でも指示を明確にし、それに見合った行動に対して頻繁に報酬を与えることは甘やかすこととは違います」とトリップ教授は言います。「それは子育ての優れた戦略であり、人生における機会を平等に与えてやることに他ならないのです」。



実験で使ったゲームを実演する  
発達神経生物学ユニットの古川絵美博士。



発達神経生物学ユニットの  
古川絵美博士（左）とゲイル・トリップ教授。



OISTではキャンパスツアー（ガイド付もしくは自由見学）を行っています。詳細は地域連携セクション 098(966)2184 までお問い合わせください。

OISTについてより詳しくお知りになりたい方は[www.oist.jp](http://www.oist.jp)をご覧ください。

## OCVB推進委員会の取組みと県知事への 沖縄観光振興に関する提言について ～県内企業、団体とOCVBから沖縄観光産業の発展に向けて～



### 沖縄の観光業界の現状について

沖縄県と一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下OCVB）では、沖縄県観光振興基本計画に基づき、平成33年度までに観光収入1兆円、入域観光客数1,000万人達成を目標に掲げ、諸施策を展開しています。

近年の沖縄観光は官民一体となった国内外誘客事業の展開等が功を奏し、平成27年度の入域観光客数は約794万人となり過去最高の記録を更新しました。

一方で、受入体制の整備は喫緊の課題となっており、数も追いつつ、質を高めて客単価を上げる戦略の練り直し等が必要な時期に来ています。

### OCVB推進委員会による知事への沖縄観光振興に関する提言

このような状況を踏まえ、当財団では、県内の観光関係企業、団体から広く意見を求めるべく、平成27年度に600を超える賛助会員から180名の委員を選任し、9つの委員会を設置しました。宿泊施設、観光施設、交通インフラ等をテーマにした各ワーキング委員会においては業界が抱える課題の抽出を行い、各委員会の委員長による推進委員会でこれら意見の絞り込みと整理を行ってきました。

去る5月26日、これらの活動のまとめとして、「沖縄観光振興に関する提言書」を県知事あて手交しました。今回知事に行った提言の概要は、以下のとおりとなります（一部抜粋、要約）。



### 1. 人手、人材等不足の解消について

- (1) 若者層を観光業界へ取り込むため、県教育庁と連携し、小中高等学校現場において観光産業に関する授業を積極的に取り入れること。
- (2) 外国人就労の拡大を図るため、沖縄全県を対象とした、就労ビザ取得、留学生の勤務制限緩和等の外国人採用に特化した就労特区の創設について、国に要請を行うこと。
- (3) ホテル従業員、バス運転手不足解消を目的として、修学旅行の分散を図り、年間を通じて安定的な集客を行うため、修学旅行に対するボトム期の補助金制度を導入すること。



## 2. 通訳ガイドの新たな承認制度の導入について

- (1) 通訳ガイドの新たな承認制度を導入すること。同時に違法行為である無資格ガイドについて、現状把握を行い関係機関への申し入れを行うこと。
- (2) ガイドの「中身」と「マナー」、二つの質の向上を図り、業界全体のレベルを上げるよう、人材育成及び活用に取り組むこと。また、県独自でガイドのレベルを把握できるようなシステムを構築すること。
- (3) ガイド不足を解消するため、特に不足言語の資格取得に対する支援を検討すること。

## 3. 芸能及びエンターテイメントの質の向上について

- (1) 県外・海外に派遣する芸能を定期的にオーディション形式で選定し、質の高いエンターテイメントの披露につなげること。また、カテゴリー別（琉球舞踊、エイサー、民謡、ポップス等）にランク付けを行い、芸能保持者の所得向上につなげ、生活の安定化を図ること。
- (2) エンターテイメントに従事する各種人材を育成するため、第一線で活躍するエンターテイメント人材の先進事例などを学び、関係者のスキル・モチベーションをあげ、県外における研修制度を設けること。



## 4. 観光コンテンツとしての「マリン業界」の振興及びとりまとめについて

県において、観光推進コンテンツとしてのマリン業界及び団体のとりまとめ並びに活性化に向けて積極的に取り組むための担当部署、担当職員を設置し、誘客プロモーション、安全性基準の整備及び人材育成を行うこと。

## 5. 地域観光協会の運営強化について

- (1) 各市町村の観光協会の安定的運営を、予算面をはじめとしてさらに支援すること。
- (2) 地域連携型の観光商品開発強化に向け、さらなる支援を行うこと。

## 6. 不適切な免税店等の規制について

- (1) 沖縄ブランドを取り扱う免税業者への優遇措置を図ること。
- (2) 不適切な免税店、土産物品店に対する罰則の強化を県条例で規定すること。これにより難しい場合は推奨店制度を導入し、外国人観光客に告知を行うこと。

## 7. 情報受発信環境の整備について

- (1) 観光客の利便性向上や観光客の情報発信によるプロモーション効果を最大化するとともに、観光危機対応力を向上する観点から、各地域や各事業者が設置している無料Wi-Fi環境等の活用も含め、その基盤となる外国人観光客が周遊中も含めて情報を受発信しやすい環境づくりを推進すること。

- (2) 観光危機対応力を高める観点から、宿泊施設における自国語放送受信環境の整備を促進する措置を講ずること。

## 8. 空港及び港湾インフラに係る各種整備について

- (1) 那覇空港の将来的・段階的な整備計画を明確にするためのマスタープランの策定を関係機関に対して求めること。特に、国際線ターミナルまでのWデッキの延伸やレンタカー送迎バスの駐車スペースの確保等を含めた、増加する空港利用者に見合った構内道路機能を抜本的に拡充するよう関係機関に求めるとともに、短期的な打開策を検討・実行するための民間事業者を含めた枠組みを設置し、必要な措置を講ずること。
- (2) クルーズ船の大型化及び運航増加を見据えた港湾機能の強化や、寄港地の分散化を推進するため、必要予算を確保する等の措置を講ずること。



## 9. バス、レンタカー、タクシー等の二次交通について

- (1) 外国人レンタカー利用者による事故、トラブルを抑制するべく、日本における交通ルールや習慣、事故認識の相違等について周知を図るため、バス、タクシー、レンタカーを利用する際の基本ルール及びマナーブックを作成するための予算を確保すること。同時に、駐車場利用のルールや県内

の駐停車可能な場所を示した多言語案内(マップ、Web)作成のため、予算措置を講ずること。

- (2) 二次交通の充実による渋滞緩和を図るため、各地域の生活道路を含む交通アクセスの整備を行うこと。
- (3) 国際通り周辺の関係機関の連携により、空き地、公共施設、民間施設等を利用した駐車場確保に動くよう働きかけると同時に、今後建設される宿泊・観光施設にも十分な駐車場を確保することを義務付ける条例を制定すること。また、全国の学校及び旅行会社へ修学旅行の最終行程を国際通り以外で設定するよう協力要請を行うこと。
- (4) 沖縄観光タクシーの利用者の増加に向け、必要な措置を講ずること。また、沖縄観光タクシー乗務員資格取得者の拡大、特に離島における資格取得者拡大に向け、離島での受講を可能とするなど資格を取得しやすい環境を創出するため、予算をはじめとした必要な措置を講ずること。



## 10. 国内外のプロモーションについて

- (1) 国内プロモーションについては、沖縄観光のボトム期に一般団体等の商品造成を促すことの出来る仕組みを作ること。また、県が策定するロードマップで記載された課題について、「誰が」、「いつまでに」、「どのように」解決していくのかを、具体的に観光事業者または関係者へ開示すること。

- (2) 海外誘客プロモーションについては、東南アジア及び欧米豪露並びに閑散期における重点地域からの誘客施策の強化を図り、かつインバウンド・リピーターを戦略的に創出し定着させるため、必要予算を確保する等の措置を講じること。同時に、那覇港発着によるフライ&クルーズを定着させ、離島周遊を促進させるとともに、各港の促進協議会の活動を活性化するため、必要予算の確保等の措置を講じること。

### 今後の活動について

今年度はワーキング委員会を10に増やし、課題解決に向けて業界自らが取り組むべき課題や県及び国への働きかけが必要な事項等についてさらに議論を重ね、より具体的な解決方法を模索すべく活動を行う予定です。

## 11. 食の充実について

- (1) 宮廷料理の再現及びその普及による食の充実に取り組むこと（徐葆光の文献にあるレシピの再現）。
- (2) 沖縄の食文化の無形文化遺産登録に向け取り組むこと。

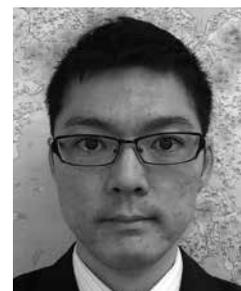


一般財団法人 沖縄観光コンベンションビューロー (OCVB)  
 〒901-0152 沖縄県那覇市字小緑 1831 番地 1 (沖縄産業支援センター 2 階)  
 TEL : 098-859-6162 FAX : 098-859-6221

広報チーム mail:pub@ocvb.or.jp

# HONG KONG

## アジア便り 香港 vol.97



レポーター  
村井 俊秀 (琉球銀行)  
沖縄県香港事務所に出向中  
(副所長)

## 香港における観光、 広告産業の現状について

### はじめに

皆様こんにちは。沖縄県香港事務所の村井です。沖縄では平年より早く梅雨が明け、夏真っ盛りではないでしょうか。こちら香港も夏真っ盛りとなっております。

今回は、香港における観光および広告産業に関する広告支出の推移、媒体、企業の対応の現状についてレポートしたいと思います。

### 1. 最近の香港の観光状況

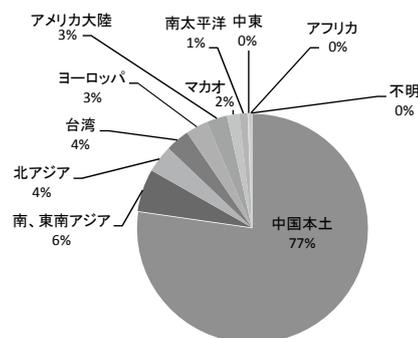
2015年の香港の入域観光客数は約5,900万人で、そのうち70%以上が中国本土からの観光客で占めています。皆様ご存知の通り、中国本土の方は「爆買い」という言葉に象徴されるように多くの買い物をされます。日本では彼らをターゲットにした品揃えや来客対応について新聞、テレビ等で大きく報道されていますが、これらの対応は香港も例外ではありません。むしろ日本よりかなり先行して行われています。

しかしながら、香港から中国本土へ違法に商品を輸出する“運び屋問題”に端を発した中国からの入国回数制限や香港への中国人入域に反対するデモの頻発等により昨年からの中国人の香

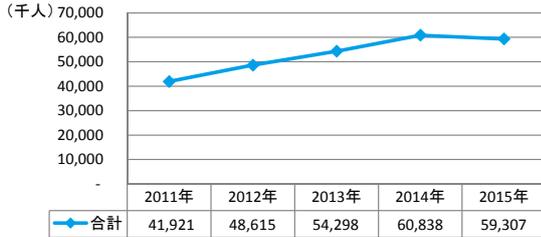
港渡航者数に陰りが見え始めてきました。香港では2015年の入域観光客数は前年比約▲153万人減少しました。そのうち、中国本土からの入域観光客数は前年比約▲140万人減少しており、いかに中国本土からの入域観光客に依存しているかが分かります。

中国本土からの観光客が減ったことで最も大きな影響を受けているのが小売業です。中国本土客をターゲットにした宝石・貴金属店やドラッグストアは減収に転じる企業が多く、閉店も目立ち始めています。

### 2015年香港入域観光客地域別シェア



香港入域観光客数推移



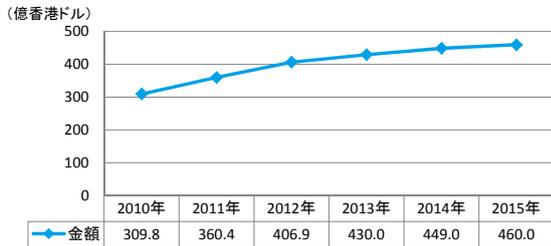
出典：上記全て香港政府統計處データをもとに作成

2. 香港の広告業界の現状

このように入域観光客数の減少により業績が悪化している企業が目立ち始めている中、それに影響される形で減少し始めているのが企業の広告支出です。

まず、広告業界全体をみていくと、直近5年間の広告支出は順調に伸び、40%以上の成長を見せています。業界別の広告支出シェアでは、HSBCグループをはじめとした金融業が最大シェアを誇り、医療・ヘルスケア、浴室・家庭用品と続きます。このように、順調に成長していた広告業界ですが今年に入り急激な落ち込みを見せています。

香港市場広告支出総額



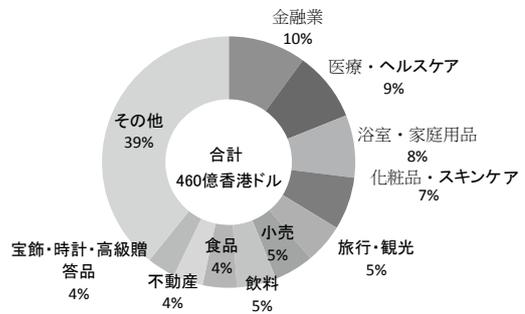
香港市場広告支出同時期比較(足元3カ年1~4月)



旅行者数減少や小売市場の不振が広告出稿意欲を減退させていることに加え、メディアが広告料金を値下げしたことも影響しています。特に、中国本土からの観光客の消費に依存する業界の減少が目立ち、アパレル、宝飾品、化粧品・スキンケア等の業種で大きな減少を見せています。

一方で香港市民からの地場消費に頼る業種では広告出稿が依然伸びています。このうち好調なのが旅行・観光で、香港ドルの上昇やLCCの普及が追い風になっています。メディアの広告料金の値下げに関しては特にTV業界で顕著に行われており、通常半額以下や中には90%OFFといった値下げに踏み切るTV局もでています。これも香港全体の広告出稿意欲減退に伴う値下げという意味合いが強いのが現状です。

2015年業界別広告支出TOP10



2015年企業別広告支出TOP10

単位:百万香港ドル

| 順位 | 企業・ブランド       | 金額    |
|----|---------------|-------|
| 1  | P&G           | 759.7 |
| 2  | デーリーファームグループ  | 688.8 |
| 3  | ロレアル          | 627.5 |
| 4  | ライオン          | 500.6 |
| 5  | ネスレグループ       | 478.7 |
| 6  | フリースランド・カンピーナ | 468.4 |
| 7  | HSBCグループ      | 425.2 |
| 8  | ASワトソングループ    | 423.9 |
| 9  | GSK           | 415.6 |
| 10 | 恒生銀行          | 372.0 |

出典：上記全て admanGo 資料をもとに作成

3. 広告支出の媒体・企業の対応の現状

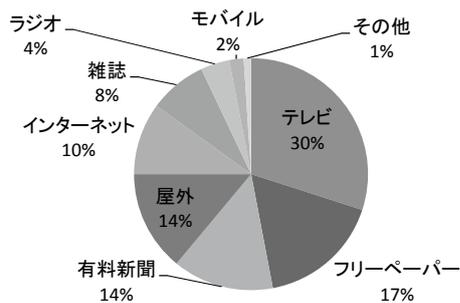
2016年4月単月における、香港での広告媒体はテレビが最大シェアを誇り、次いで、フリーペーパー、有料新聞と続いています。このシェア構成に変化が生じるとみられています。

近年インターネット広告の市場規模が拡大しており2011年からの5年間で約3倍に拡大しています。一方、テレビは減少傾向にあり、来年にもインターネット広告がテレビ広告を超えるのでは

ないかといわれています。このように広告媒体の序列に変化が起こっているのは広告媒体の多様化及びコスト効率に関連しているようです。

近年広告媒体として注目されているのがフェイスブックに代表される SNS による広告宣伝です。日本ではさほど普及していませんが、香港におけるフェイスブックの利用者は世界トップクラスであり老若男女がアカウントを保有しています。ある調査会社の発表では、香港・台湾における広告媒体別の到達度（当該広告への接触率と注目率）に対する費用効果を調査したところ、フェイスブック広告がテレビ広告の 7 倍、印刷広告の 3 倍もコスト効率が良いという結果が判明しました。

2016 年 4 月媒体別広告シェア



出典：admanGo 資料をもとに作成

### 最後に

次回も皆様に関心をもって頂けるトピックを紹介したいと思います。当所の取り組み内容については是非お気軽にお問い合わせ下さい。

沖縄県香港事務所

Tel : (852) 2968-1006

Fax : (852) 2968-1003

E-mail rokinawaopg@bizetvigator.com



## 入会のご案内

琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を实践するべく、お取引先企業への情報支援サービスの提供を目的に会員制組織「りゅうぎんビジネスクラブ」を設立し、各種セミナーの開催や情報のご提供、県外での商談会など様々なサービスを実施しております。

### サービスのご案内

■各種セミナーの開催による情報等の提供  
ビジネスクラブ会員企業トップと弊行役員との親睦の場を兼ねたトップセミナーや実務セミナーに無料で参加いただけます。

【最近の実績】

H27. 2.26 森永卓郎氏「トップセミナー」  
H27. 6. 3 若手営業担当者向けセミナー  
H27. 8. 4 管理職向けリーダーシップセミナー  
H27.10.20 経営者層向けセミナー  
H28. 2. 2 岩田松雄氏「トップセミナー」  
H28. 5.24 「ビジネスに効く！コミュニケーション術とアンガーマネジメント」

■「りゅうぎんマネジメントスクール」の開講

企業経営者や経営幹部を対象にした、ビジネススクールの運営を実施しております。  
※別途受講料が必要になります。

【著名な講師例】

・第1期 酒巻 久 キヤノン電子㈱社長  
・第2期 鈴木 喬 エステー㈱会長  
・第3期 出口 治明 ライフネット生命保険㈱会長兼CEO  
・第4期 宗次 徳二 ㈱志番屋 創業者特別顧問  
・第5期 高田 明 ㈱A and Live 代表取締役  
(ジャバネットたかた 前社長)

■「経営参考小冊子」の定期配送

企業運営に有益な情報が盛り込まれた「経営参考小冊子」をお届けいたします。

【内容例】

・部下をやる気にさせる上司のひと言  
・どんな仕事もうまくいく「気づかい」の習慣

■「りゅうぎんビジネスフラッシュ」定期配信

税務・会計・法務・人事・労務など、経営のお役に立つ情報レターを毎週FAX配信いたします。

【内容例】

・「最少時間」で「最高の結果」を出す！  
・若手社員向け・簡単な「経営指標」の見方

■専門家派遣サービス

公認会計士・税理士・司法書士・中小企業診断士・社会保険労務士・行政書士などの各種専門家を無料で派遣し、会員企業様の「経営課題」に対し、会員企業様・専門家・琉球銀行が一体となって取り組むサービスです。

※1社につき年1回ご利用になれます。

■りゅうぎんビジネスサイトによる経営情報等の提供<sup>1</sup>

「会員専用サイト」を利用した、タイムリーな各種経営情報の提供をおこなっております。

【内容例】

・産業別ニュース21 ・ビジネスレポート  
・経営課題解決ナビ ・ビジネスマッチング

### その他のサービス

■融資利率の優遇

りゅうぎんビジネスクラブ会員企業の皆様に一部融資商品（ベストサポーター、順風満帆）について、融資金利の優遇を実施しております<sup>2</sup>。詳細は取引店担当者にお問い合わせ下さい。

りゅうぎんビジネスクラブ  
入会申込方法  
年会費 20,000円

1 「りゅうぎんビジネスクラブ入会申込書」及び「りゅうぎんビジネスサイト利用申込書」に必要事項を記入の上、取引店担当者に提出下さい。

2 入会金は不要です。

3 年会費は20,000円です。 ※お申込月の翌々月4日ご指定口座より引落となります。

### お問い合わせ

「りゅうぎんビジネスクラブ事務局」(琉球銀行コンサルティング営業部内)

**TEL:098-860-3817** (担当:比嘉、真栄城)までお願いいたします。

<sup>1</sup> 別途りゅうぎんビジネスサイトへの申込(無料)が必要になります。

<sup>2</sup> 審査の結果、ご希望に添えない場合もございますので、あらかじめご了承下さい。

## レポート

### 「第6期りゅうぎんマネジメントスクール(第3回)」を開講しました

りゅうぎんビジネスクラブでは、平成28年6月16日(木)に沖縄県立博物館・美術館にて、「第6期りゅうぎんマネジメントスクール」の第3回講義を開催致しました。

当スクールは、当行お取引先の経営者や後継予定者、経営幹部の方を対象に、企業経営に必須な知識の習得を目的としたビジネススクールで、4月から9月まで全6回7講義を行います。

| テーマ     | 講義タイトル                     | 講師                                |
|---------|----------------------------|-----------------------------------|
| 経営法務    | 「知っておきたい企業法務のポイント」         | 小沢・秋山法律事務所<br>パートナー／弁護士<br>香月 裕爾氏 |
| マーケティング | 「ブランドマーケティングでファンをもっと増やそう!」 | MORE経営コンサルティング(株) 代表取締役<br>日野 眞明氏 |



会場の様子

第3回は2部構成で、前半「経営法務」を小沢・秋山法律事務所 パートナー弁護士の香月 裕爾(かつき ゆうじ)氏に、後半「マーケティング」をMORE経営コンサルティング株式会社 代表取締役の日野 眞明(ひの まさあき)氏にご講義いただきました。

「経営法務」の講師 香月氏は、就業前後の作業時間やサービス残業等の労働時間に関する事例と、SNSで従業員が個人情報を漏えいした事例などについて、雇用する立場から、法律上どのように定められ、どういう問題が生じるのか、どのように対処すべきかを事例ごとに解説していただきました。

「マーケティング」の講師 日野氏は、中小企業診断士として独立される前は、大手スーパーのトップセールスマンとして活躍した経験を持つ方で、ご自身と地元愛知県岡崎市の老舗菓子店や文具店との関わりなどを例に挙げながら、中小企業のブランド構築の考え方や具体的な戦略の立て方をお話いただきました。

いずれの講義も専門的な内容でしたが、受講生からは「大変ためになった」「もっと勉強したい」との声をいただきました。



講義中の香月氏



講義中の日野氏

コンサルティング営業部内 りゅうぎんビジネスクラブ事務局 比嘉・真栄城

# 年金受取は りゅうぎんで!

## キャンペーン

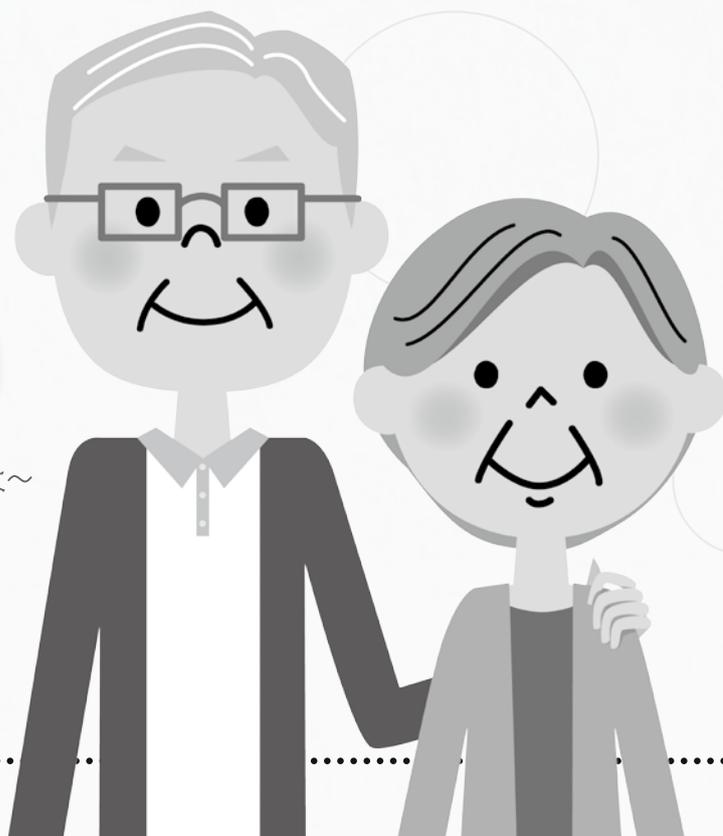
平成28年6月1日(水)から平成28年11月30日(水)まで!

あいつ!!  
商品券が  
もらえるってよ

スーパーでも  
使えるってよ~

だからよ~  
うれしいね~

便利だね~



### 特典1

キャンペーン期間中に当行へ公的年金の  
受取口座をご指定していただいた方**全員**に  
OCS商品券**1,000円分**をプレゼント!



### 特典2

特典1の対象者\*の  
中から**抽選**で  
OCS商品券をプレゼント!

**10,000円分** 15名様

**5,000円分** 50名様

### さらに!

先着**100組(200名様)**

ゴッホ、モネ、セザンヌ『巨匠たちの奇跡』絵画展

**チケットプレゼント!**



\*平成29年2月の年金受取実績が8万円以上のお客さま

※実際にお届けするものとデザインが異なる場合があります。ご了承ください。

| キャンペーン期間 | 平成28年6月1日(水)~平成28年11月30日(水)  | 抽 選 日           | 平成29年3月中旬  |
|----------|--|-----------------|--|
| 応募要件     | キャンペーン期間中に<br>①公的年金(厚生年金、共済年金、国民年金、船員年金)を新規請求される方で、年金の振込口座を当行へご指定いただいた方<br>②公的年金(厚生年金、共済年金、国民年金、船員年金)をすでに受給されている方で、新たに当行に受取口座の指定(変更)をいただいた方<br>(ただし①、②とも当行口座へご指定いただいたことが確認できる書類の提示が必要となります。)   | 確認できる書類<br>(一例) | 「年金請求書(国民年金・厚生年金保険老齢給付)」<br>「(国民年金・厚生年金保険老齢給付)裁定請求書」<br>「年金受給権者住所・支払機関変更届」(変更ハガキ)<br>特別支給の老齢厚生年金受給権者老齢基礎年金支給繰上げ請求書<br>退職共済年金請求書 等  |
| 特典内容     | <b>特典1</b> 応募要件①または②を満たす方全員に下記景品をプレゼント<br><b>OCS商品券:1,000円分</b><br>※特典1の景品受取は1回限りです。<br><b>特典2</b> 応募要件①または②を満たし、かつ平成29年2月の年金受取実績が8万円以上ある方の中から抽選で65名様に下記商品券をプレゼント<br><b>OCS商品券:10,000円分...15名様 OCS商品券:5,000円分...50名様</b><br>当選発表:懸賞品の発送(平成29年4月中旬頃)をもって発表にかえさせていただきます。 | ご留意事項           | ●公的年金以外(国民年金基金・厚生年金基金・企業年金基金および私的年金等)は対象外となります。<br>●キャンペーンへのご応募は一人さま1回限りです。<br>●景品および懸賞品は予告なく変更となる場合があります。<br>●送付先の住所は当行の登録先となりますので、ご了承ください。<br>●お客さまの住所不在・転居先不明などで懸賞品をお届けできない場合、当選を無効とする場合があります。<br>●景品の盗難・紛失または滅失・破損した場合は、景品は無効となります。また、再交付もいたしません。<br>●景品の交換・換金・変更等には応じられません。<br>●応募件数により懸賞本数を減少させていただく場合があります。 |
|          | <b>さらに!</b><br>応募要件①または②を満たす先着 <b>100組(200名様)</b> に下記景品をプレゼント<br>・ゴッホ、モネ、セザンヌ『巨匠たちの奇跡』絵画展 <b>チケット</b><br>期間:平成28年6月15日(水)~8月14日(日)<br>会場:県立博物館・美術館   |                 |  |

詳しくはりゅうぎん窓口にお問い合わせください。

琉球銀行

沖縄総合事務局経済産業部の  
最近の取組について

## ビッグデータを活用した地域経済分析システム「RESAS」の利活用事例集の公表について

自治体による地方創生の取組を情報面から支援するため、官民のビッグデータを集約し、可視化するシステム「地域経済分析システム（RESAS：リーサス）」が、経済産業省と内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）の連携の下に提供されています。この度、同システムの提供開始1周年を機に、自治体における利活用事例が取りまとめられました。

### 1 RESAS（リーサス）の利活用

経済産業省は、内閣官房（まち・ひと・しごと創生本部事務局）と連携し、産業構造や人口動態、人の流れなどに関する官民のビッグデータを集約し、可視化するシステムとして、昨年4月から「地域経済分析システム（RESAS：リーサス）」を提供しています。この度、同システムの提供開始1周年を機に、自治体における19件の利活用事例が取りまとめられ、沖縄管内からは、豊見城市及び南城市の事例が取り上げられております。

### 2 沖縄県における利活用事例

#### ○沖縄県豊見城市 <医療産業を中心とした産業振興に関する分析 他>

人口動態から豊見城市の課題分析を行い、雇用者所得の地域外からの流入額が大きいことが分かり、豊見城市がベッドタウン型の都市であることがRESASの分析によって再確認されました。また、医療業や飲食店、宿泊業など市内に集積する産業間の連携を図り、医療ツーリズムを軸として産業振興していくことの有効性が分析により示唆されました。

【沖縄県豊見城市】

<http://www.meti.go.jp/press/2016/04/20160421002/20160421002-20.pdf>

#### ○沖縄県南城市 <農業と観光産業の連携に関する分析 他>

南城市の強みである農水産業の方向性として、付加価値額の高い食料品製造業や観光資源

の1つとなっているカフェなどの飲食店との連携が有効であることが示唆されました。また、流動人口の分析により、南城市の観光資源の分析を行うことができました。

【沖縄県南城市】

<http://www.meti.go.jp/press/2016/04/20160421002/20160421002-21.pdf>

### 3 今後の取組

沖縄総合事務局経済産業部は、本事例集が、データに基づく新たな行政の在り方のモデルケースとして、より効果的な地域経済産業施策の検討・立案が更に促進されるとともに、施策立案の背景やプロセスを地域の皆様にも知っていただき、理解を深めていただく一助になることを期待しています。本年度は、政策立案ワークショップの開催や、自治体に加え民間団体等におけるRESASの利活用を推進していく予定です。また、本システムの操作等に関する専門的な職員を配置し、地方自治体等からの相談窓口、研修の実施等の利活用支援を行っております。是非お気軽に御相談ください。



地方自治体における研修風景

#### 【参考】

・RESASサイト <https://resas.go.jp/>  
※ Google Chrome ブラウザをご利用下さい。

・全国の事例はこちら

<http://www.meti.go.jp/press/2016/04/20160421002/20160421002.html>

 内閣府沖縄総合事務局  
経済産業部

■本記事に関するお問い合わせについて  
内閣府沖縄総合事務局経済産業部企画振興課

**TEL：098-866-1727**

<http://ogb.go.jp/keisan/index.html>

# 貴社の回収業務の効率化と 顧客満足度の向上をご支援いたします！

## 回収率 アップ

**手軽で便利なコンビニからのお支払い**  
貴社のお客さまは、土日祝日に関係なく、24時間365日気軽にお支払いいただけますので貴社の料金回収効率が高まります。

## コスト 削減

**集金事務に要したコストを大幅に削減**  
貴社は、お客様に払込取扱票を送付するだけで、お客様から回収した資金を貴社ご指定の預金口座に入金しますので、集金事務における人件費等が大幅に削減できます。

## すばや い 情報提供

**回収情報をすばやくご提供**  
回収情報を、すばやくご提供しますので消込処理・督促処理等が迅速に実行できます。また、回収資金入金日をお知らせしますので資金計画も立てやすくなります。

## 事務処理 が楽々

**電子データにより消込処理が軽減**  
回収情報は貴社が設定された顧客番号等を含む電子データでご提供しますので、消込処理の自動化が可能となり、事務負担が大幅に軽減できます。

## コンビニ収納サービスで貴社に適した回収業務をサポートします

### ●コンビニ収納サービスが貴社のお客さまにもたらすメリット

- ・ライフスタイルに合わせて、いつでもどこでもコンビニでお支払いが可能になります。
- ・コンビニでのお支払いが可能になることで、お支払い方法のバリエーションが増えます。
- ・インターネット取引で、クレジットカードをお持ちでない方、カード決済を希望されない方もお支払いできます。

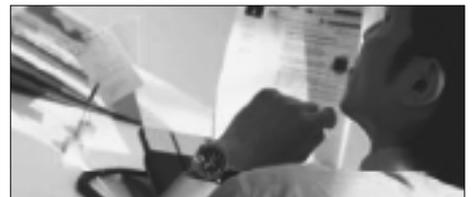
### ●当行のコンビニ収納サービスの特徴



**契約は当行とだけ!**  
各コンビニと個別に契約いただく必要はございません。



**初期投資も最小限で!**  
情報管理に、専用パソコンソフトや専用Web画面を提供します。



**豊富な実績!**  
様々なノウハウがあるので、円滑にサービスを導入いただけます。

## コンビニ収納サービス **スタンダード**

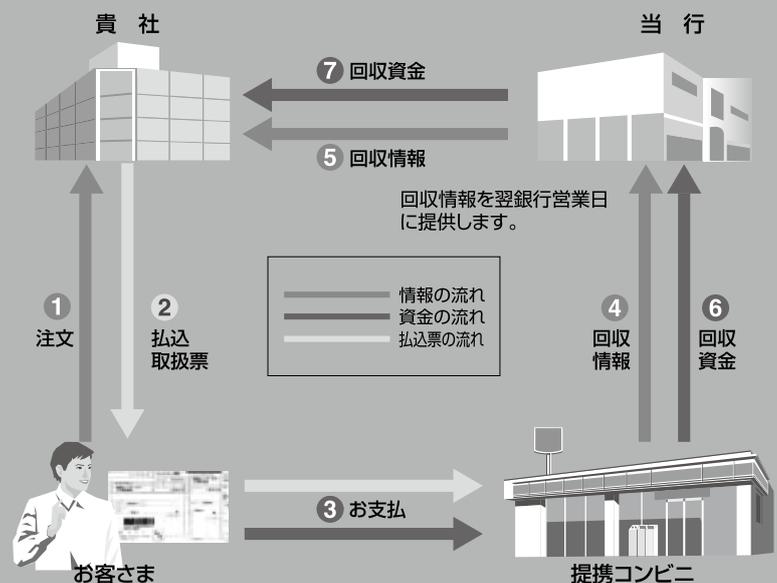
いつでも(24時間365日)どこからでも(日本全国)回収いたします。

販売代金や会費などの各種料金を、貴社に代わって当行が提携する各コンビニ店舗でお客様から回収し、その回収情報(バーコード情報)を貴社に提供します。回収した資金は貴社の預金口座に入金するサービスです。

全国5万6千店舗のコンビニが貴社に代わって回収いたします。

### ご利用例

- 塾・予備校・セミナー  
授業料、入学金、検定試験受験料、パソコン講習代金、月謝、セミナー代金の回収にご利用いただけます。
- 不動産管理会社  
家賃、駐車代金の滞った借主に対する督促を早めるためにご利用いただけます。
- その他  
小売業(食品、物販)、通信販売会社、ガス・石油会社、クレジットカード会社、新聞販売会社、出版会社 等



## 本件に関するお問い合わせ先

株式会社琉球銀行  
営業推進部 公務グループ 塩崎

TEL

**098-860-3470**

受付時間 【平日】AM 9:00 ~ PM 5:00

# 県内大型プロジェクトの動向

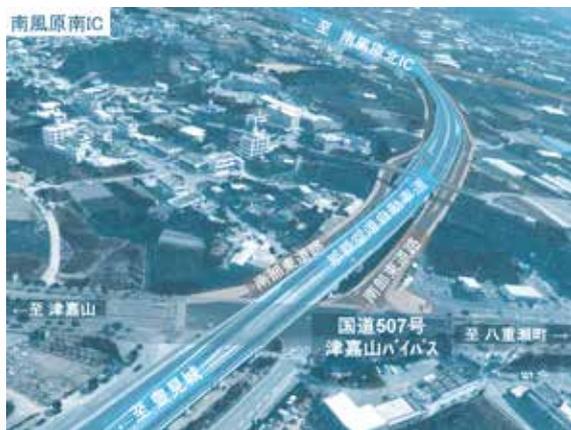
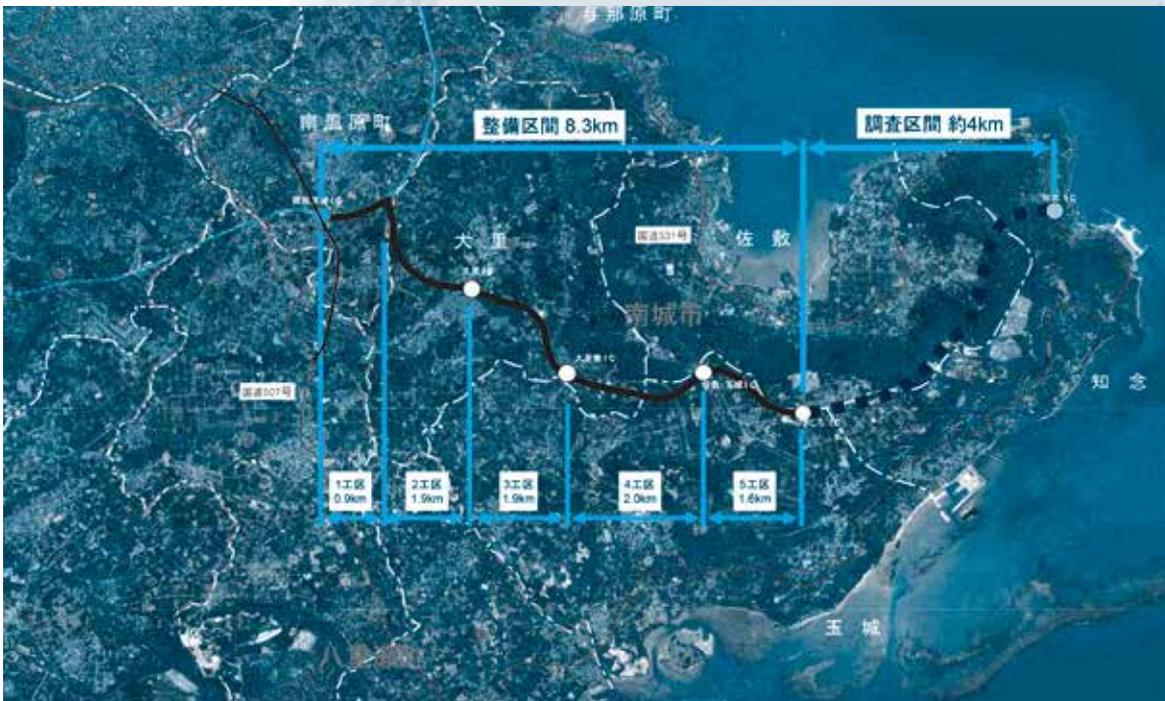
事業名：南部東道路(南風原知念線道路改築事業)

種別：(公共) 民間 3セク

|         |   |
|---------|---|
| 関係地域    | 南風原町、南城市  |
| 事業主体    | 主体名：沖縄県(国庫補助事業)<br>所在地：沖縄県土木建築部道路街路課<br>那覇市泉崎1丁目2番2号 電話：098-866-2390  |
| 事業目的    | 那覇空港や高度医療機関までの時間短縮を図るとともに、定時・定速を確保し、那覇市までの30分圏の確立を図り、通勤通学や経済活動等の利便性向上や、地域住民に都市的サービスを提供すること。   |
| 事業期間    | 平成23年度～平成30年代前半   |
| 事業規模    | 事業延長8.3km(暫定2車線)  |
| 事業費     | 約182億円  |
| 事業概要    | 路線名：南部東道路(南風原知念線)<br>事業区間：南風原町字山川～南城市玉城字垣花<br>路線延長：8.3km<br>道路規格：第3種第2級 設計速度60km/h<br>道路幅員：W=16.25m(完成4車線) ※W=8.5m(暫定2車線)下り<br>橋梁：17カ所(うち本線橋13カ所、跨道橋4カ所)<br>トンネル：1カ所  |
| 経緯      | <ul style="list-style-type: none"> <li>平成18年3月 地域高規格道路整備区間に指定</li> <li>平成23年4月 事業着手</li> <li>平成23年9月 都市計画決定</li> <li>平成23年10月 環境影響評価書公告縦覧</li> <li>平成27年7月 南部東道路起工式</li> </ul>  |
| 現況及び見通し | <ul style="list-style-type: none"> <li>南部東道路は、南城市の知念・玉城の島尻東地域から大里を經由して、南風原町内の那覇空港自動車道につながる地域高規格道路である。</li> <li>本路線は、沖縄県広域道路整備基本計画に位置づけられ、ハシゴ道路ネットワークとして沖縄自動車道や那覇空港自動車道等、本県の縦軸を形成する高規格幹線道路等に対し、それらの機能を補完する横軸を形成する道路である。</li> <li>事業区間は、南部東道路全線延長12kmのうち南風原ICからつきしろICまでの延長8.3km区間である。</li> <li>南風原町から南城市に至る当該地域は、那覇市から半径15km圏内という便利な地理的条件にもかかわらず、急峻な地形等による幹線道路の整備の遅れで車の移動にも時間がかかるうえ、既存の県道南風原知念線においては、斜面崩壊により迂回を余儀なくされるなど不便な地域とされてきた。</li> <li>そのため、世界遺産の斎場御嶽やあざまサンサンビーチ等、多くの観光資源を有する当該地域の観光振興や地場産業の発展にも影響を及ぼしており、早急な幹線道路の整備は当該地域や南部圏域全体にとって極めて重要な課題となっている。</li> <li>南部東道路の整備により、南城市知念出張所から県立南部医療センター・こども医療センターまでピーク時で約17分の短縮が見込まれ、医療施設までの迅速な搬送が期待できる。</li> <li>また、斎場御嶽から首里城までピーク時で約17分の短縮が見込まれ、観光地間のアクセス向上が期待できる。</li> <li>南城市は、佐敷・玉城IC付近に平成29年度の完成に向け、新庁舎建設を予定しており、新庁舎周辺地域を中核地として位置づけ、土地利用のあり方について検討しているところである。</li> </ul> |

|      |   |
|------|---|
| 進捗状況 | 平成28年度は約17億円の事業費を計上し、用地買収の進捗を図るとともに、道路改良工事や橋梁下部工工事をすすめる。  |
| 熟 度  | <input type="checkbox"/> 構想段階 <input type="checkbox"/> 計画段階 <input checked="" type="checkbox"/> 工事段階 <input type="checkbox"/> 開業・供用段階 |

事業全体図および完成予想図(県土木建築部道路街路課提供)



特集

# 沖縄県内における2016年 プロ野球春季キャンプ の経済効果

経済効果は過去最高となる

100億400万円

## 要 旨

- ・2016年の沖縄県内におけるプロ野球春季キャンプの経済効果は、100億400万円となり、2014年の88億8,000万円を上回り過去最高となった。
- ・観客数は、約33万2,000人で過去最高となり、入域観光客数が好調に推移する中、新監督や注目選手が多数キャンプ入りしたことなどで観客数が増え、前年より約2万500人増加した。
- ・観客数のうち県外からの観客は約6万6,000人と推測され前年より約1万2,000人増加した。
- ・今年の経済効果は、2軍キャンプの1球団減少や、施設等整備費などの減少があったが、前年に引続き県外からの観客の大幅増による宿泊費や飲食費の増加、土産・グッズ購入費の増加などが底上げし、過去最高となった。
- ・また、今年の経済効果を産業別に多い方からみると、宿泊業が17億8,200万円、飲食サービス（飲食店など）が12億1,300万円、商業が11億8,800万円などの順であった。
- ・今年の経済効果を球団別にみると阪神タイガースが34億7,900万円と最も多く、次いで読売ジャイアンツが15億7,300万円であった。
- ・プロバスケットボールやプロサッカーをはじめ、多くのスポーツコンベンションの推進による地域振興は今後も沖縄経済に好影響を与えることが期待できるため、老朽化した施設や、駐車場や宿泊施設などの周辺施設の整備や更新が重要な課題であり、それらが充実することが、よりスポーツビジネス産業の発展に寄与していくものと考えられる。



## 1. 2016年の春季キャンプの概要

### (1) キャンプ実施球団の状況

2016年2月に沖縄県内で春季キャンプを実施した国内プロ野球球団は、前年より1球団少ない9球団であった(図表1)。今年の1軍キャンプは前年と同じ9球団だったが、2軍キャンプはオリックス・バファローズのキャンプ実施が無かったため、前年より1球団減少し、5球団での実施となった。また、今年、日本ハムは米国・アリゾナ州でもキャンプを実施したため、名護市でのキャンプ実施は2月中旬から下旬までとなり、前年より期間は短くなった(以下、球団名は「日本ハム」のような略称を用いる)。

### (2) キャンプ参加者・観客の人数

#### ① 選手・球団関係者・報道陣

まず、今年のキャンプの参加人数をみてみると、選手(1、2軍計)・球団関係者は全9球団合計で約1,000人(前年比50人減)、報道関係者や解説者が約1,750人(前年比200人減)であった。選手・球団関係者は、オリックスの2軍キャンプが実施されなかったことなどから、前年より減少した。

報道関係者や解説者は、日本ハムや広島などのキャンプ期間の短縮に加え、前年は黒田投手のメジャーからの復帰により報道関係者が増えたことの反動などにより減少した。

#### ② 観客数

キャンプ期間中の観客数は、約33万2,000人(オープン戦含む)となった。新監督や注目選手が多数キャンプ入りしたことなどで、観客数が増え前年(約31万1,500人)より約2万500人の増加となった。

また、県外からの観客数は約6万6,000人と推測され、好調な入域観光客数の増加を背景に、ラミレス新監督や金本新監督効果、オコエ選手をはじめ多くの注目選手が県内キャンプ入りしたこと、多くの練習試合が実施されたことによる阪神キャンプの観客数増加などにより、前年(約5万4,000人)より約1万2,000人の増加となった。

また、ロッテの台湾チームとの交流戦の実施や、本島内での韓国球団との練習試合などでは、国内の観客だけでなく、国外からの観客の姿も前年以上に多く見られた。

(図表1) 沖縄県内における2016年春季キャンプの実施状況

| 球団名                    | キャンプ地 | 開催球場           | キャンプ期間 |    |              |
|------------------------|-------|----------------|--------|----|--------------|
|                        |       |                | 2月     | 3月 | 日程           |
| 北海道日本ハムファイターズ<br>(2軍)  | 名護市   | 名護市営球場         |        |    | 2/17~2/28    |
|                        | 国頭村   | くにがみ球場         |        |    | 2/1~2/25     |
| 広島東洋カープ                | 沖縄市   | コザしんきんスタジアム    |        |    | 2/20~2/28    |
| 中日ドラゴンズ<br>(2軍)        | 北谷町   | 北谷公園野球場        |        |    | 2/1~2/29     |
|                        | 読谷村   | 読谷平和の森球場       |        |    | 2/1~2/29     |
| 横浜DeNAベイスターズ<br>(2軍)   | 宜野湾市  | 宜野湾市立野球場       |        |    | 2/1~2/28     |
|                        | 嘉手納町  | 嘉手納町野球場        |        |    | 2/1~2/24     |
| 東京ヤクルトスワローズ            | 浦添市   | 浦添市民球場         |        |    | 2/1~2/25     |
| 阪神タイガース                | 宜野座村  | 宜野座村営野球場       |        |    | 2/1~2/29     |
| 東北楽天ゴールデンイーグルス<br>(2軍) | 久米島町  | 久米島野球場         |        |    | 久米島町2/1~2/12 |
|                        | 金武町   | 金武町ベースボールスタジアム |        |    | 金武町2/14~2/21 |
|                        | 久米島町  | 仲里野球場          |        |    | 2/1~2/20     |
| 千葉ロッテマリーンズ<br>(2軍)     | 石垣市   | 石垣市中央運動公園野球場   |        |    | 2/1~2/20     |
|                        | 〃     | 〃              |        |    | 2/1~2/20     |
| 読売ジャイアンツ               | 那覇市   | 沖縄セルラースタジアム那覇  |        |    | 2/16~2/25    |

※球団は沖縄県でのキャンプを始めた年の順で掲載

(図表2)2016年プロ野球春季キャンプ関連支出額  
(直接支出額)

| 支出項目       | 支出額<br>(百万円) | 前年比<br>(百万円) |
|------------|--------------|--------------|
| 宿泊費        | 1,781        | 405          |
| 飲食費        | 1,531        | 150          |
| 土産品・グッズ購入  | 1,173        | 151          |
| 交通費        | 990          | 176          |
| 娯楽レジャー     | 578          | 40           |
| 練習施設等の整備費  | 73           | ▲162         |
| クリーニング代    | 60           | ▲6           |
| アルバイトへの支払い | 44           | ▲8           |
| 施設使用料      | 41           | ▲3           |
| その他        | 245          | 83           |
| 合計         | 6,516        | 826          |

## 2. 経済効果の試算について

### (1) 春季キャンプの関連支出額(直接支出額)

キャンプにおいては、県外からの滞在者が県内で宿泊、飲食、娯楽レジャー等に支出するほか、多くの県民がキャンプ地へ出かけて見学の際に飲食をし、土産品を購入したりする。また、受入地の市町村による練習施設等のインフラ整備や協力会によるキャンプを応援するための関連経費の支出などがあり、これが直接支出額となる。

こうした支出額について試算した結果、総額で65億1,600万円(図表2)となり、前年(56億9,000万円)を8億2,600万円上回った。

試算結果の内訳をみると、宿泊費が17億8,100万円で最も多く、次いで飲食費が15億3,100万円、土産品・グッズ購入11億7,300万円、交通費9億9,000万円、娯楽・レジャー費5億7,800万円、練習施設等の整備費7,300万円などとなっている。

県外からの観客増加や消費単価の増加により宿泊費(前年比4億500万円増)や飲食費(同1億5,000万円増)、土産品・グッズ購入(同1億5,100万円増)は増加したものの、練習施設等の整備費(同1億6,200万円減)などは減少した。

### (2) 春季キャンプの沖縄県内における経済効果

まず、県内の産業全体の自給率は100%ではないため、(1)で求めた直接支出額65億1,600万円に自給率を掛けると県内で供給された分である57億4,900万円が求められ、これが直接効果となる。

次に、直接効果である宿泊費、飲食費、交通費、

施設整備費などが県内で支出されると、当該産業だけでなく、こうした産業に原材料、サービス等を提供している産業の売上の増加へと波及していく。これを間接1次効果といい、これが25億7,100万円となる。さらに、直接効果と間接1次効果で生じた各産業における雇用者の所得増加は、これら雇用者の消費支出を増加させ、関連する各産業の生産を誘発していく。これを間接2次効果といい、これが16億8,300万円となる。

これらの直接効果、間接1次効果、間接2次効果を合わせた金額が100億400万円となり、これがいわゆる県内におけるプロ野球春季キャンプの経済効果となる。

また、これらの効果のうち、賃金等の雇用者所得や企業の営業余剰などに当たる粗付加価値額が53億5,400万円となり、この中で雇用者所得が26億2,600万円となる(図表3)。

今年の経済効果である100億400万円は、これまで最も大きかった2014年の88億8,000万円を11億2,400万円上回り、過去最高の経済効果となった。

なお、今年の経済効果を球団別にみると、観客数の増加から阪神が34億7,900万円で最も多くなり、次いで巨人が15億7,300万円であった。

### (3) 産業別の経済効果

今年の経済効果である100億400万円を産業別にみると、宿泊業が17億8,200万円と最も大きく、次いで飲食サービス(飲食店など)が12億1,300万円、商業が11億8,800万円、製造業(土産品の製造や食品加工など)が10億7,100万円、対

(図表3) 春季キャンプ経済効果の試算結果

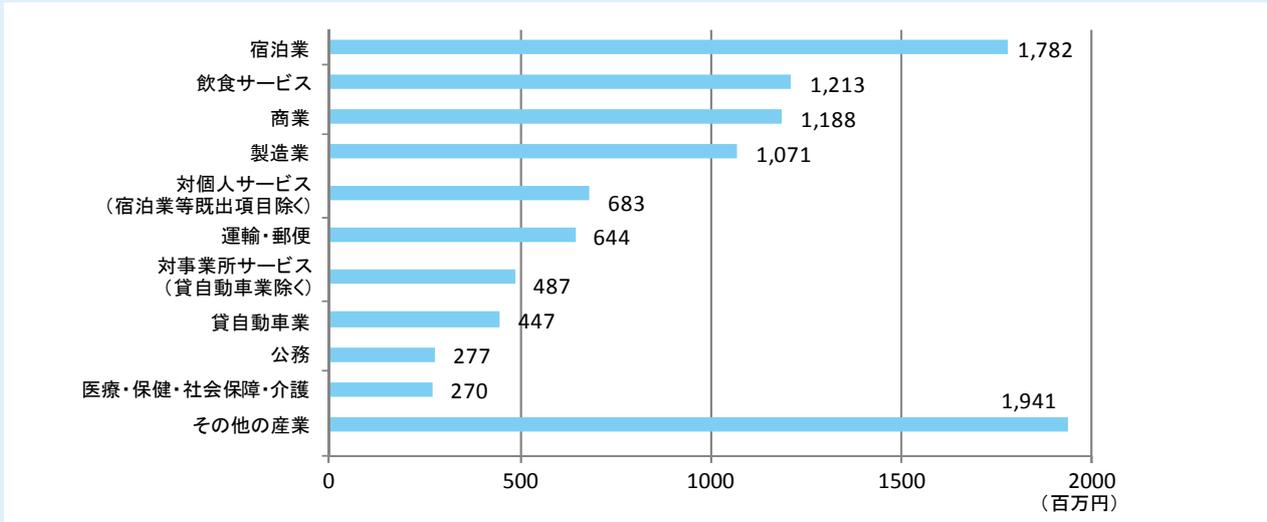
【単位:百万円】

|            | 経済効果<br>(生産誘発額)     |              |       |
|------------|---------------------|--------------|-------|
|            | 粗付加価値<br>誘発額        | 雇用者所得<br>誘発額 |       |
| 直接効果       | 5,749               | 2,975        | 1,351 |
| 間接1次効果     | 2,571               | 1,331        | 665   |
| 間接2次効果     | 1,683               | 1,049        | 610   |
| 総合効果(経済効果) | 10,004              | 5,354        | 2,626 |
| 直接支出額      | 6,516               | -            | -     |
| 波及効果       | 1.5(倍)…(総合効果/直接支出額) |              |       |

- (注) 1. 直接効果は、直接の支出による効果(自給率が100%でなければ移輸入の分、直接支出額を下回る)。  
2. 間接1次効果は、原材料を他の産業から購入することによって起こる波及効果。  
3. 間接2次効果は、直接効果、間接1次効果によって生み出された雇用者所得の増加が個人消費の拡大を通して再び生産を誘発する効果。  
4. 生産誘発額は、直接支出の増加により誘発された各部門の生産額の合計。  
5. 付加価値は、誘発された生産額の中に占める粗付加価値(雇用者所得や営業余剰など)。  
6. 端数処理により合計は合わないことがある。



(図表4) 産業別の経済効果



個人サービス(既出項目除く)が6億8,300万円、運輸・郵便が6億4,400万円の順となっている(図表4)。

### 3. キャンプ経済効果の推移と課題

今年のキャンプ経済効果は、100億400万円で、観客数とともに過去最高を更新した(図表5)。キャンプ実施の球団は10球団から9球団へと減少となったものの、多数の注目選手や新監督などを目的に県外から多くの野球ファンが訪れたことにより、前年より宿泊業や飲食サービス(飲食店)、商業、製造業などに与える経済効果が増加したためである。

また、沖縄観光が好調に推移していることも県外からの観客が増えた要因とみられる。その他にも、海外球団のキャンプ誘致により、国内客だけでなく海外からも観客を集客できるようになってきており、今後、県経済に大きな影響を与えることが期待される。

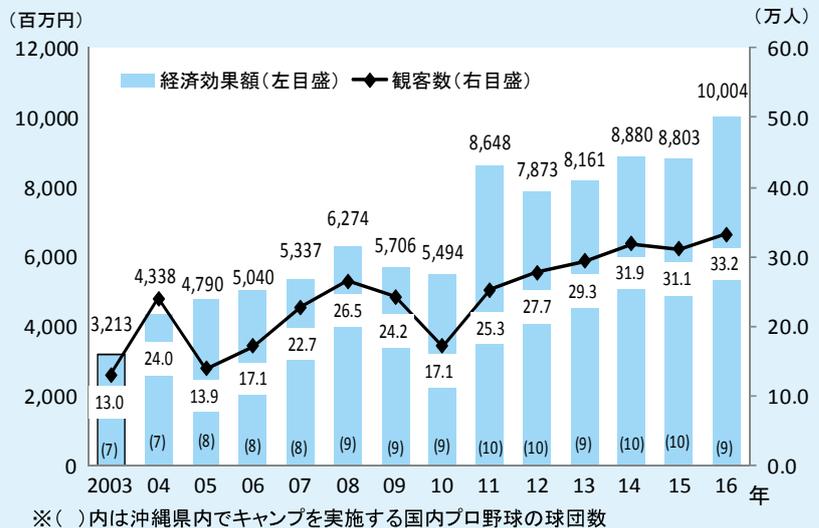
一方、施設の整備状況については、改善傾向にあるものの、未だ老朽化に伴う施設の整備や更新、駐車場や宿泊施設などの周辺施設の整備を望む声があがっており、その結果キャンプ地を県外へ移転するなどの動きがみられる。一定の球団数が県内に留まらなければ、練習試合などの調整ができず、県外へ移転する動きはより強くなると考えられる。また、他

県と比較し地域をあげてのキャンプの受入態勢が弱く感じられる所もあり、盛り上がりが限定される部分もある。今後は、行政だけでなく地域も含め応援する体制作りも必要だと考えられる。

このように、県内でのプロ野球春季キャンプが県経済へ与える影響は大きい。沖縄の温暖で景観の良い自然環境を活かし、野球だけでなく、プロバスケットボールやプロサッカーをはじめ、多くのスポーツコンベンションの推進による地域振興は今後も沖縄経済に好影響を与えることが期待できる。施設や環境整備を充実させることで、よりスポーツビジネス産業全体の発展に寄与していくものと考えられる。

以上

(図表5) プロ野球春季キャンプの経済効果と観客数の推移



【補注1】プロ野球春季キャンプの沖縄県内での実施状況

| 暦年          | 日本ハム                                     | 広島          | 中日                                | 横浜                           | オリックス                              | ヤクルト                        | 阪神                | 楽天             | ロッテ           | 巨人            | ソフトバンク                      | 西武  |
|-------------|--|-------------|-----------------------------------|------------------------------|------------------------------------|-----------------------------|-------------------|----------------|---------------|---------------|-----------------------------|-----|
| 1979        | (投手陣)<br>名護市                             | ◎           |                                   |                              |                                    |                             |                   | (○)            |               |               |                             |     |
| 80          |  | ◎           |                                   |                              |                                    |                             |                   | (○)            |               |               |                             |     |
| 81          | (一軍)<br>名護市<br>○                         |             |                                   |                              |                                    |                             |                   |                |               | ◎             |                             |     |
| 82          |  | (一軍)<br>沖縄市 | ○                                 |                              |                                    |                             |                   |                |               |               |                             | ◎   |
| 83          |  |             | (一軍)<br>石垣市                       |                              |                                    |                             |                   |                |               | ○             |                             | ◎   |
| 84          | (一軍)<br>名護市<br>(二軍)<br>宜野座村              | ◎           |                                   |                              | ○                                  |                             |                   |                |               |               |                             |     |
| 85          | (一軍のみ)<br>名護市                            |             | (投手陣)<br>具志川市                     |                              |                                    |                             | ◎                 |                |               |               |                             | ○   |
| 86          |  | ○           |                                   |                              |                                    |                             |                   |                |               |               |                             | ◎   |
| 87          |  |             | (一軍)<br>石川市<br>具志川市               | (一軍)<br>宜野湾市                 |                                    |                             |                   |                |               | ○             |                             | ◎   |
| 88          |  |             | ○                                 |                              |                                    |                             |                   |                |               |               |                             | ◎   |
| 89          |  |             | (一軍)<br>石川市<br>(二軍)<br>具志川市       |                              | (投手陣)<br>糸満市                       |                             |                   | (○)            | (投手陣)<br>那覇市  | ◎             |                             |     |
| 90          |  |             |                                   |                              | (一軍)<br>糸満市                        |                             |                   |                |               | ○             | (一軍)<br>読谷村<br>(二軍)<br>嘉手納町 | ◎   |
| 91          |  | ○           |                                   |                              | (一軍)<br>糸満市<br>(二軍)<br>那覇市         |                             |                   |                |               |               |                             | ◎   |
| 92          |  |             |                                   |                              |                                    | ○                           |                   |                |               |               |                             | ◎   |
| 93          |  |             |                                   |                              | (一、二軍)<br>平良市<br>糸満市               | ◎                           |                   |                |               |               |                             | ○   |
| 94          |  |             |                                   |                              | (一、二軍)<br>平良市、糸<br>満市、城辺<br>町      |                             |                   |                |               | ◎             |                             | ○   |
| 95          |  |             |                                   |                              | (一軍)<br>平良市<br>(二軍)<br>城辺町<br>○    | ◎                           |                   |                |               |               |                             |     |
| 96          | (一軍)<br>名護市<br>(二軍)<br>宜野座村              |             | (一軍)<br>北谷町<br>(二軍)<br>うるま市       | (一軍)<br>宜野湾市<br>(二軍)<br>嘉手納町 | ◎                                  |                             |                   |                |               | ○             |                             |     |
| 97          |  |             | (一軍)<br>石川市<br>(二軍)<br>読谷村        |                              |                                    | ◎                           |                   |                |               |               |                             | ○   |
| 98          |  |             |                                   | ◎                            |                                    |                             |                   |                |               |               |                             | ○   |
| 99          |  |             | ○                                 |                              |                                    |                             |                   |                |               |               | ◎                           |     |
| 2000        |  |             |                                   |                              |                                    | (一軍)<br>浦添市                 |                   |                |               | ◎             | ○                           |     |
| 01          |  |             |                                   |                              |                                    | ◎                           |                   | (○)            |               |               |                             |     |
| 02          |  |             |                                   |                              |                                    |                             |                   |                |               | ◎             |                             | ○   |
| 03          | (一軍)<br>名護市<br>(二軍)<br>東風平町              |             |                                   |                              |                                    |                             | (一軍)<br>宜野座村<br>○ |                |               |               | ◎                           |     |
| 04          |  |             | (一、二軍)<br>北谷町<br>読谷村<br>○         |                              | (一軍)<br>平良市<br>(二軍)<br>平良市 城<br>辺町 |                             |                   |                |               |               |                             | ◎   |
| 05          |  |             | (一軍)<br>北谷町<br>(二軍)<br>読谷村<br>北谷町 |                              | (一軍のみ)<br>平良市                      |                             | ○                 | (一、二軍)<br>久米島町 | ◎             |               |                             |     |
| 06          | (一軍)<br>名護市<br>(二軍)<br>八重瀬町→<br>国頭村<br>◎ |             | (一軍)<br>北谷町<br>(二軍)<br>読谷村<br>○   |                              | (一軍のみ)<br>宮古島市                     |                             |                   |                |               |               |                             |     |
| 07          | (一軍)<br>名護市<br>(二軍)<br>国頭村<br>○          |             | ◎                                 |                              |                                    |                             |                   |                |               | ○             |                             |     |
| 08          |  |             |                                   |                              |                                    |                             |                   |                | (一軍のみ)<br>石垣市 | ○             |                             | ◎ ○ |
| 09          | ○  |             |                                   |                              | (一、二軍)<br>宮古島市                     | (一軍)<br>浦添市<br>(二軍)<br>八重瀬町 |                   |                |               | ◎ ○           |                             |     |
| 10          |  |             | ○                                 |                              |                                    |                             |                   |                | ◎             |               | ○                           |     |
| 11          |  |             | ○                                 |                              |                                    |                             |                   |                |               | (一軍のみ)<br>那覇市 | ◎ ○                         |     |
| 12          | ○  |             |                                   |                              |                                    |                             |                   |                |               | ◎ ○           |                             |     |
| 13          |  |             |                                   |                              |                                    | (一軍のみ)<br>浦添市               |                   | ◎ ○            |               | ○             |                             |     |
| 14          |  |             |                                   |                              |                                    |                             |                   |                | (一、二軍)<br>石垣市 | ○             | ◎ ○                         |     |
| 15          |  |             |                                   |                              | (二軍のみ)<br>宮古島市                     | ○                           |                   |                |               |               | ◎ ○                         |     |
| 16          |  |             |                                   |                              |                                    |                             |                   |                |               |               |                             |     |
| 一軍<br>キャンプ地 | 米国<br>名護市                                | 宮崎県<br>沖縄市  | 北谷町                               | 宜野湾市                         | 宮崎県                                | 浦添市                         | 宜野座村              | 久米島町<br>金武町    | 石垣市           | 宮崎県<br>那覇市    | 宮崎県                         | 宮崎県 |
| 二軍<br>キャンプ地 | 国頭村                                      | 宮崎県         | 読谷村                               | 嘉手納町                         | 宮崎県                                | 宮崎県                         | 高知県               | 久米島町           | 石垣市<br>鹿兒島    | 宮崎県           | 宮崎県                         | 高知県 |

(備考) 1. 太線内のシャド一部分は沖縄県内で春季キャンプを実施。○はリーグ優勝、◎は日本シリーズ制覇。  
2. 楽天の列の(○)は、05年からオリックスと合併した旧・近鉄のリーグ優勝。

【補注2】

本調査で使用した産業連関表について

本件調査では、沖縄県の平成23年産業連関表を用いた。産業部門数で表示する部門表は産業分類35部門表をベースにしたが、35部門表ではキャンプにおける主な支出項目である「宿泊業」や「飲食サービス」、「貸自動車業」等の部門が明示されていないので、これらの産業部門については、県が公表した基本分類表(401行×343列)から該当する業種を抽出した。さらに、今回の分析において統合しても不都合がない部門を当社で統合し、本件調査の分析用に組み替えた。

また、産業連関表における各産業部門の自給率は、県内需要(=県内居住者の需要)に対する

自給率であるため、移輸出(=非居住者の需要)は対象外となる。このため、統計上、移輸出である「県外からの滞在者の支出(=非居住者の需要)」の経済効果を試算する際に、そのままの自給率を用いると不都合が生じる。例えば、宿泊業の自給率は、県内居住者の宿泊需要(県外旅行等を含む)のうち県内宿泊部門を利用した割合を意味するが、県内居住者の場合、県外宿泊の支出額が県内宿泊の支出額より大きいため、県内宿泊業の自給率は低くなる。しかし、キャンプ関連の宿泊費や飲食費は全て県内で発生するため、こうした支出に対して県内での自給率が明らかに100%とみられる宿泊業、飲食店などについては自給率を100%に設定し直して使用した。

生産誘発額を求める式は以下のとおりである。

$$X = [I - (I - \bar{M}) A]^{-1} (I - \bar{M}) F$$

X : 各産業部門の財・サービスの生産額

I : 単位行列

$\bar{M}$  : 県内需要に対する移輸入係数(対角行列)

A : 投入係数(行列)

[ ]<sup>-1</sup> : 逆行列

F : 最終需要額(直接支出額)

※ X(生産額)が、F(最終需要額)に対応する生産誘発額となる

## ●りゅうぎん調査● 県内の

# 景気動向

概況 2016年5月

### 景気は、拡大の動きが強まる

消費関連では、スーパーが前年を上回る

観光関連では、入域観光客が前年を上回る

5月の県内景気をみると、消費関連では、百貨店は外国人観光客による化粧品等の消費が好調で引き続き前年を上回り、スーパーは、気温が高かったことで飲料や生鮮食品などが伸長し引き続き前年を上回った。耐久消費財では、新車販売はレンタカー需要や新型車投入効果により前年を上回り、電気製品卸売はエアコンなどの主要家電が好調で前年を上回った。

建設関連では、公共工事は沖縄県、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことから前年を上回った。建築着工床面積(4月)は引き続き前年を下回ったが、新設住宅着工戸数(4月)は貸家、分譲が増加したことから前年を上回った。建設受注額は、公共工事は減少したが、民間工事が増加したことから、前年を上回った。

観光関連では、入域観光客数は国内客、外国客ともに増加したことから、引き続き前年を上回った。主要ホテルでは、稼働率は前年を上回ったが、売上高、客室単価は前年を下回った。

総じてみると、消費関連、観光関連が好調に推移し、建設関連も概ね好調なことから、県内景気は拡大の動きが強まっている。

## 消費関連

百貨店売上高は、外国人観光客による消費が好調なことなどから25カ月連続で前年を上回った。スーパー売上高は、食料品は気温が高かったことで飲料や生鮮食品が伸長したことなどから増加し、住居関連は季節商品や外国人観光客による消費が好調なことなどから増加し、14カ月連続で前年を上回った。新車販売は、レンタカー需要が好調なことや新型車投入効果などから2カ月連続で前年を上回った。電気製品卸売販売額は、省エネ製品・高付加価値製品の需要が堅調で、エアコンなどの主要家電の販売が好調に推移したことなどから2カ月連続で前年を上回った。

先行きは、高い消費マインドや外国人観光客の増加などから引続き好調を維持するとみられる。

## 建設関連

公共工事請負金額は、沖縄県、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことなどから、2カ月連続で前年を上回った。建築着工床面積(4月)は、3カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数(4月)は、貸家、分譲が増加したことなどから2カ月連続で前年を上回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は減少したが、民間工事は増加したことなどから、2カ月ぶりに前年を上回った。建設資材関連では、セメント、生コンは民間工事向け出荷の減少などにより前年を下回った。鋼材は単価の低下などから前年を下回り、木材は住宅関連工事向け出荷の増加などから前年を上回った。

先行きは、公共工事や新設住宅着工が高水準で推移することが予想され、引き続き概ね好調な動きが続くものとみられる。

## 観光関連

入域観光客数は、44カ月連続で前年を上回った。国内客は2カ月連続で前年を上回り、外国客は34カ月連続で前年を上回った。方面別では台湾、中国本土、韓国などからの入域が観光客数増加に寄与した。

県内主要ホテルは、稼働率は前年を上回ったものの、売上高、宿泊客室単価は前年を下回った。主要観光施設入場者数は2カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は5カ月ぶりに前年を上回ったものの、売上高は5カ月連続で減少した。

先行きは、外国客の旺盛な旅行需要を背景に、好調に推移するものとみられる。

## 雇用関連・その他

新規求人数は、前年同月比15.7%増となり8カ月連続で前年を上回った。有効求人倍率(季調値)は0.98倍と、前月より0.04ポイント上昇した。産業別にみると、卸売業・小売業、医療・福祉などで増加し、不動産業・物品賃貸業、建設業などで減少した。完全失業率(季調値)は5.1%と前月より0.2%ポイント改善した。

消費者物価指数(総合)は、食料などが上昇したが、光熱・水道および交通・通信などが下落したことから、前年同月比0.1%減と8カ月ぶりに前年を下回った。

企業倒産は、件数が3件で前年同月を1件下回った。負債総額は1億2,200万円となり、前年同月比61.0%の減少だった。

# 2016.5

りゅうぎん調査

増減率(%)

|                              | 前年同月比       | 前年同期比<br>( 2016.3-2016.5 ) |
|------------------------------|-------------|----------------------------|
| <b>消費関連</b>                  |             |                            |
| (1) 百貨店(金額)                  | 1.8         | 2.4                        |
| (2) スーパー(既存店)(金額)            | 5.4         | 3.7                        |
| (3) スーパー(全店)(金額)             | 6.1         | 5.2                        |
| (4) 新車販売(台数)                 | 20.5        | 6.2                        |
| (5) 電気製品卸売(金額)               | 7.0         | 3.6                        |
| <b>建設関連</b>                  |             |                            |
| (1) 公共工事請負金額(金額)             | 16.8        | ▲ 7.0                      |
| (2) 建築着工床面積(m <sup>2</sup> ) | (4月) ▲ 12.2 | (2-4月) ▲ 9.8               |
| (3) 新設住宅着工戸数(戸)              | (4月) 20.2   | (2-4月) ▲ 0.5               |
| (4) 建設受注額(金額)                | 5.2         | 11.5                       |
| (5) セメント(トン数)                | ▲ 0.7       | ▲ 7.3                      |
| (6) 生コン(m <sup>3</sup> )     | ▲ 3.6       | ▲ 17.2                     |
| (7) 鋼材(金額)                   | ▲ 14.5      | ▲ 17.3                     |
| (8) 木材(金額)                   | 0.6         | ▲ 3.8                      |
| <b>観光関連</b>                  |             |                            |
| (1) 入域観光客数(人数)               | 12.0        | 8.9                        |
| うち外国客数(人数)                   | 54.5        | 47.6                       |
| (2) 県内主要ホテル稼働率               | (前年同月差) 1.8 | (前年同期差) ▲ 0.5              |
|                              | (実数) 73.8   | (実数) 77.2                  |
| (3) " 売上高(金額)                | ▲ 2.4       | ▲ 0.8                      |
| (4) 観光施設入場者数(人数)             | 6.3         | 0.6                        |
| (5) ゴルフ場入場者数(人数)             | 0.5         | ▲ 2.4                      |
| (6) " 売上高(金額)                | ▲ 1.9       | ▲ 2.2                      |
| <b>その他</b>                   |             |                            |
| (1) 県内新規求人数(人数)              | 15.7        | 9.5                        |
| (2) 有効求人倍率(季調値)              | (実数) 0.98   | (実数) 0.94                  |
| (3) 消費者物価指数(総合)              | ▲ 0.1       | 0.3                        |
| (4) 企業倒産件数(件数)               | (前年同月差) ▲ 1 | (前年同期差) ▲ 0.3              |
| (5) 広告収入(県内マスコミ)(金額)         | (4月) 2.5    | (2-4月) 2.2                 |

(注1) 公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

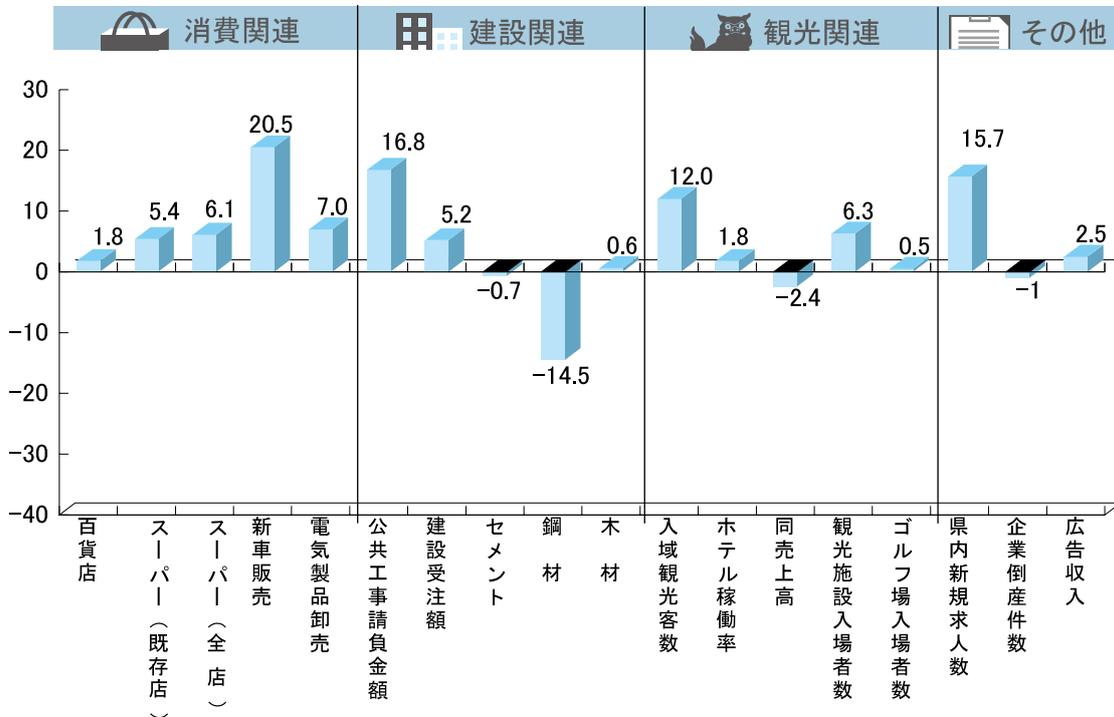
(注2) 百貨店は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

(注3) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

(注4) 主要ホテルは、2016年3月より調査先が27ホテルから26ホテルとなった。

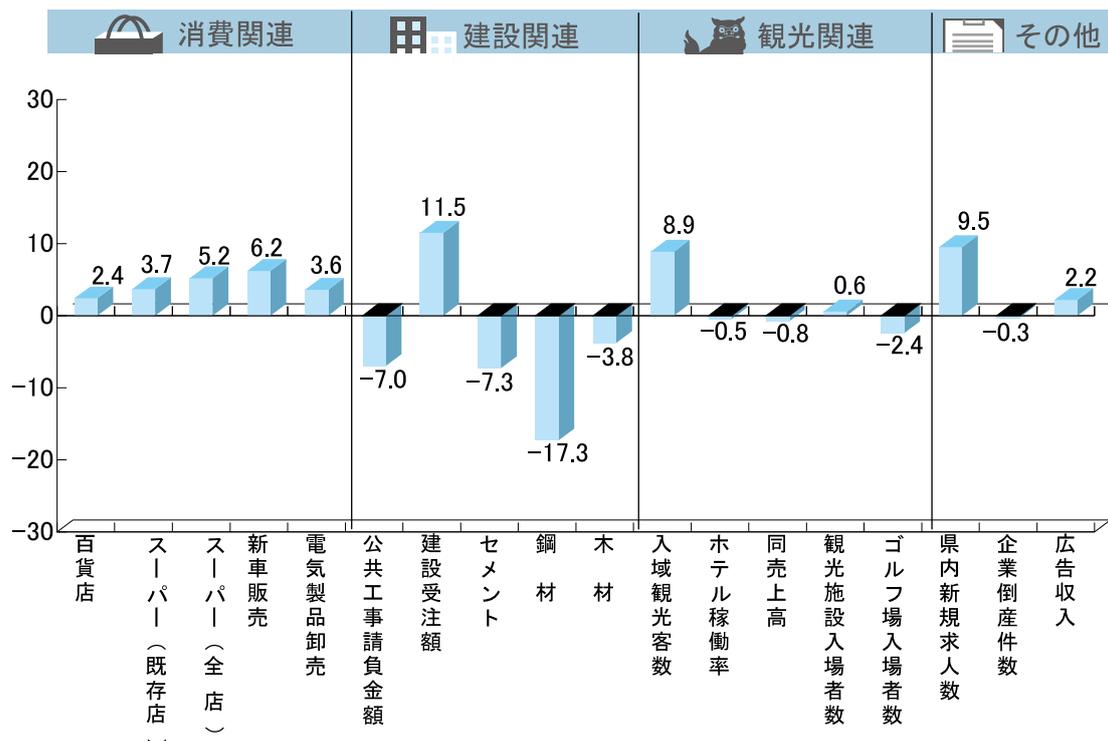
(注5) 企業倒産の前年同月差は、月平均の前年同月差。

項目別グラフ 単月 2016.5



(注) 広告収入は16年4月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)、企業倒産件数(件)は前年差。

項目別グラフ 3カ月 2016.3~2016.5



(注) 広告収入は16年2月~16年4月分。数値は前年比(%)。  
ホテル稼働率(%ポイント)は前年差。企業倒産件数(件)は月平均の前年差。

消費関連

建設関連

観光関連

その他

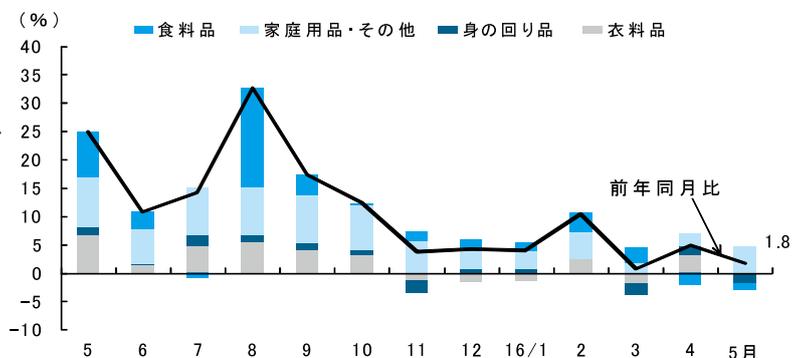
# 消費関連

## ① 百貨店売上高 (前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 25カ月連続で増加

- 百貨店売上高は、前年同月比1.8%増と25カ月連続で前年を上回った。食料品は改装効果の一巡などから減少した。衣料品は、梅雨入り後に夏物商材の品薄がみられたことなどから微減し、身の回り品は、前年同月開催の催事が今年は未開催だったことなどから減少した。家庭用品・その他は、化粧品や外国人観光客による消費が好調なことなどから増加した。
- 品目別にみると、家庭用品・その他(同15.1%増)は増加し、身の回り品(同18.9%減)、食料品(同4.9%減)、衣料品(同0.1%減)は減少した。

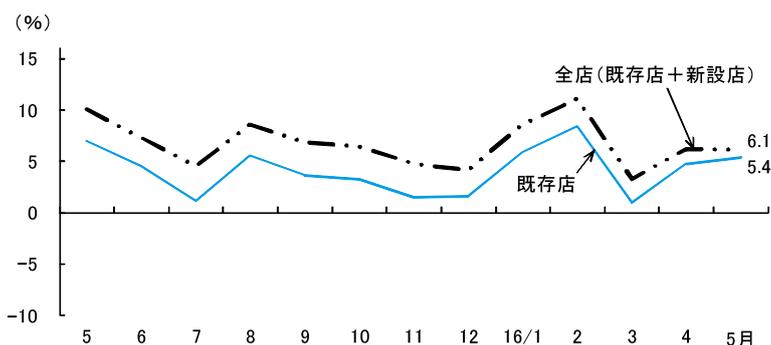


(注)2014年9月より調査先百貨店が一部変更となった。  
出所:りゅうぎん総合研究所

## ② スーパー売上高(前年同月比)

### 全店ベースは14カ月連続で増加

- スーパー売上高は、既存店ベースでは前年同月比5.4%増と14カ月連続で前年を上回った。
- 食料品は、気温が高く推移したことで飲料や生鮮食品などが伸長したことなどから、同4.2%増となった。衣料品は、夏物商材の動向が良く同5.3%増だった。家電を含む住居関連は、季節商品や外国人観光客による消費が好調なことなどから同10.3%増となった。
- 全店ベースでは6.1%増と14カ月連続で前年を上回った。



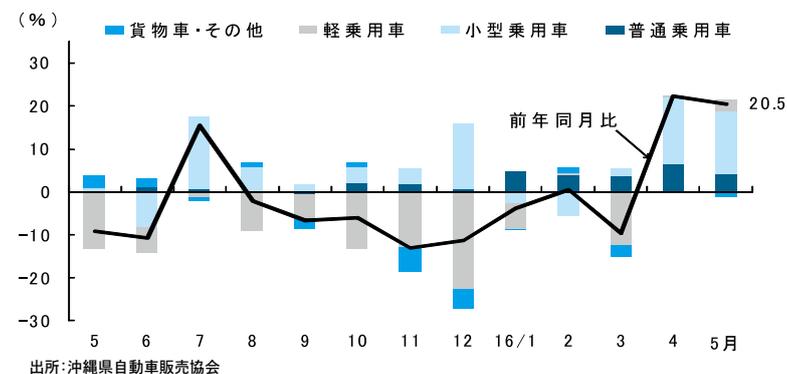
出所:りゅうぎん総合研究所

## ③ 新車販売台数 (前年同月比)

※棒グラフは車種別寄与度

### 2カ月連続で増加

- 新車販売台数は3,597台となり、前年同月比20.5%増と2カ月連続で前年を上回った。普通自動車は、レンタカー需要が好調なことや新型車の投入効果などから前年を上回った。軽自動車は、軽自動車税引き上げの影響の一巡などから持ち直しの動きがみられ、前年を上回った。
- 普通自動車(登録車)は1,721台(同47.6%増)で、うち普通乗用車は447台(同40.6%増)、小型乗用車は1,109台(同64.1%増)であった。軽自動車(届出車)は1,876台(同3.1%増)で、うち軽乗用車は1,565台(同5.5%増)であった。



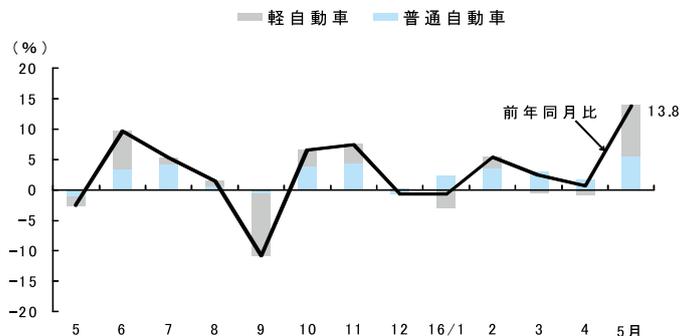
出所:沖縄県自動車販売協会

#### ④ 中古自動車販売台数【登録ベース】

※棒グラフは車種別寄与度

##### 4カ月連続で増加

- ・中古自動車販売台数(普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース)は1万8,206台で前年同月比13.8%増と4カ月連続で前年を上回った。
- ・内訳では、普通自動車は6,838台(同14.7%増)、軽自動車は11,368台(同13.3%増)となった。



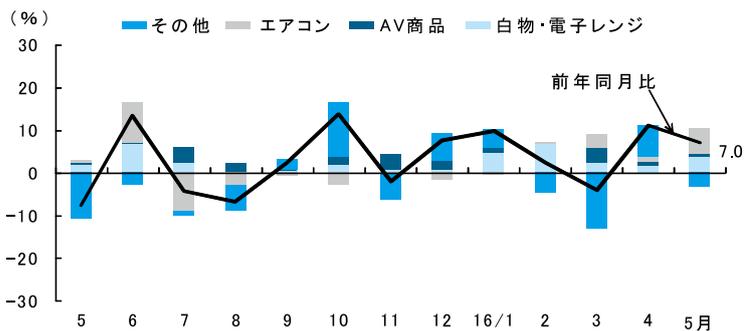
出所:沖縄県中古自動車販売協会 ※登録ベース

#### ⑤ 電気製品卸売販売額(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

##### 2カ月連続で増加

- ・電気製品卸売販売額は、省エネ製品や高付加価値製品の需要が堅調で、エアコンなどの季節商品を中心に主要家電の販売が好調に推移したことなどから、前年同月比7.0%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・品目別にみると、AV商品ではDVDレコーダーが同14.0%増、テレビが同4.8%増、白物では洗濯機が同25.9%増、冷蔵庫が同12.3%増、エアコンが同32.0%増、太陽光発電システムを含むその他は同6.2%減となった。



出所:りゅうぎん総合研究所

消費  
関連

建設  
関連

観光  
関連

その他

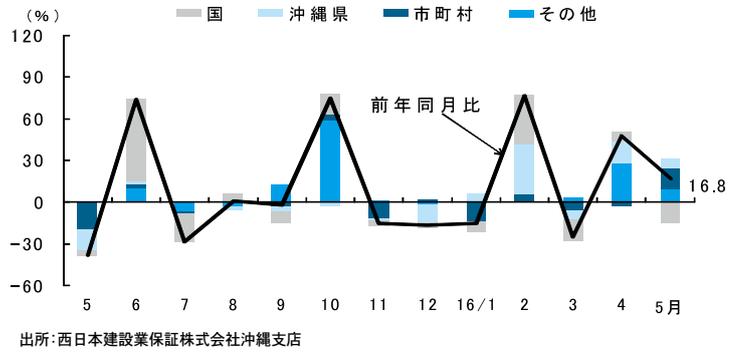
# 建設関連

## ① 公共工事請負金額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

### 2カ月連続で増加

- ・公共工事請負金額は、142億6,100万円で前年同月比16.8%増となり、沖縄県、市町村、独立行政法人等・その他が増加したことから、2カ月連続で前年を上回った。
- ・発注者別では、県(同19.4%増)、市町村(同94.9%増)、独立行政法人等・その他(同117.8%増)は増加し、国(同34.5%減)は減少した。
- ・大型工事としては、沖縄自動車(特定更新等)、金武橋(下り線)他2橋床版取替工事や港川小学校校舎改築工事(建築)などがあつた。

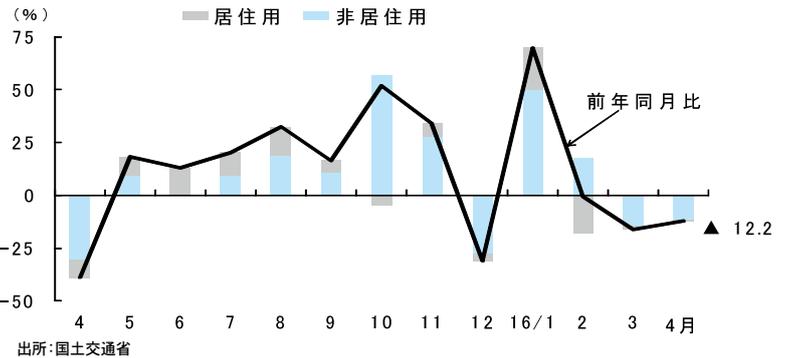


## ② 建築着工床面積 (前年同月比)

※棒グラフは用途別寄与度

### 3カ月連続で減少

- ・建築着工床面積(4月)は18万2,072㎡となり、居住用、非居住用ともに減少したことから、前年同月比12.2%減となり、3カ月連続で前年を下回った。用途別では、居住用は同1.2%減、非居住用は同20.8%減となった。
- ・建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用準住宅は増加したが、居住専用、居住産業併用は減少した。非居住用では、運輸業用などが増加し、不動産業用などが減少した。

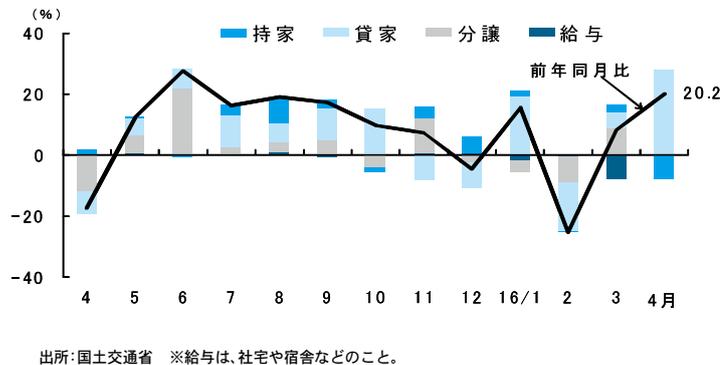


## ③ 新設住宅着工戸数 (前年同月比)

※棒グラフは利用関係別寄与度

### 2カ月連続で増加

- ・新設住宅着工戸数(4月)は1,409戸となり、貸家、分譲が増加したことから、前年同月比20.2%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・利用関係別では、貸家(1,098戸)同40.9%増、分譲(81戸)同11.0%増と増加し、持家(228戸)同27.8%減、給与(2戸)が同50.0%減と減少した。

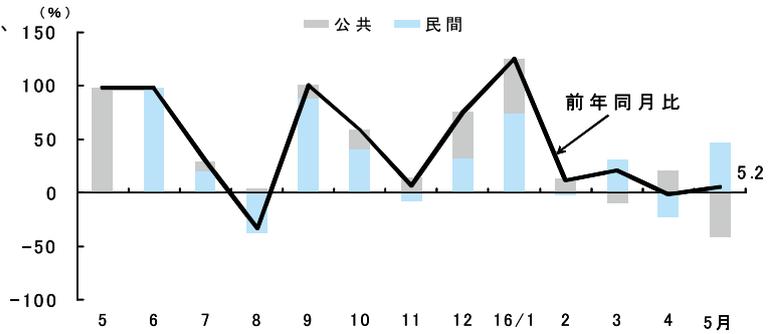


#### ④ 建設受注額 (前年同月比)

※棒グラフは発注者別寄与度

##### 2カ月ぶりに増加

- ・建設受注額(調査先建設会社:20社)は、公共工事は減少したが、民間工事は増加したことから、前年同月比5.2%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- ・発注者別では、公共工事(同61.1%減)は2カ月ぶりに減少し、民間工事(同141.7%増)は2カ月ぶりに増加した。

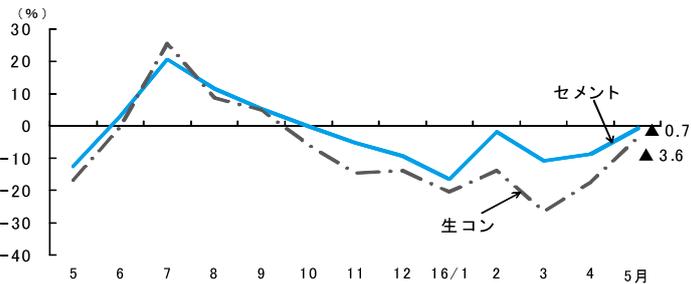


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ セメント・生コン(前年同月比)

##### セメント、生コンともに8カ月連続で減少

- ・セメント出荷量は6万5,780トンとなり、前年同月比0.7%減と8カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量は11万9,713m<sup>3</sup>で同3.6%減となり、公共工事における橋梁関連向け出荷や、民間工事における貸家向け出荷の減少などから8カ月連続で前年を下回った。
- ・生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、海事工事向け出荷などが増加し、橋梁関連向け出荷などが減少した。民間工事では、分譲マンション向け出荷などが増加し、貸家向け出荷などが減少した。

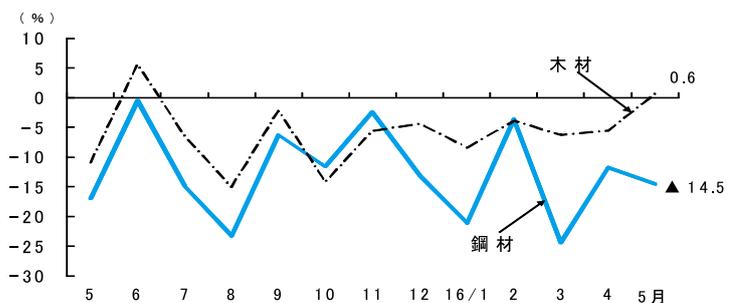


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 鋼材・木材 (前年同月比)

##### 鋼材は17カ月連続で減少、木材は11カ月ぶりに増加

- ・鋼材売上高は、単価の低下などから、前年同月比14.5%減と17カ月連続で前年を下回った。
- ・木材売上高は、住宅関連工事向け出荷の増加などから同0.6%増と11カ月ぶりに前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

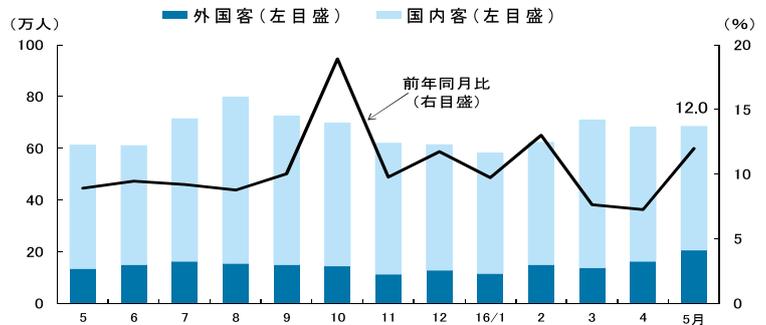


# 観光関連

## ① 入域観光客数(実数、前年同月比)

### 44カ月連続で増加

- ・入域観光客数は、前年同月比12.0%増の68万4,600人と、44カ月連続で前年を上回った。国内客、外国客ともに増加した。国内客は、同0.1%増の47万8,100人となり2カ月連続で前年を上回った。
- ・路線別では、空路は58万1,000人(同3.8%増)と44カ月連続で前年を上回った。海路は10万3,600人(同101.6%増)と12カ月連続で前年を上回った。

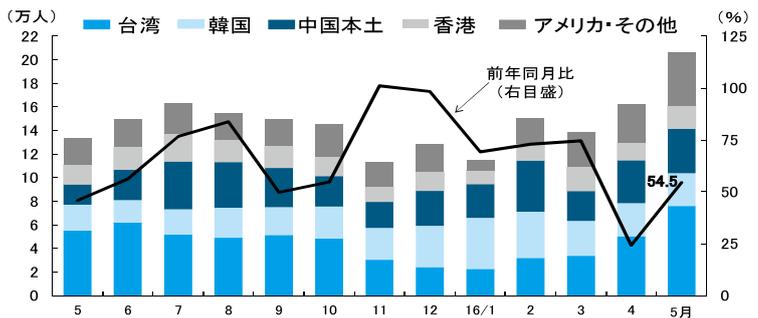


出所:沖縄県観光政策課

## ② 入域観光客数【外国客】(実数、前年同月比)

### 34カ月連続で増加

- ・入域観光客数(外国客)は、航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数の増加などから前年同月比54.5%増の20万6,500人となり、34カ月連続で前年を上回った。
- ・国籍別では、台湾7万6,000人(同37.4%増)、中国本土3万7,900人(同119.1%増)、韓国2万7,700人(同27.1%増)、香港1万9,500人(同17.5%増)、アメリカ・その他4万5,400人(同100.0%増)であった。

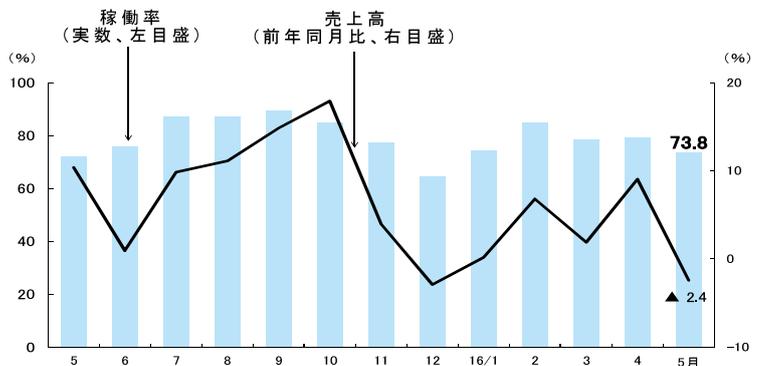


出所:沖縄県観光政策課

## ③ 主要ホテル稼働率・売上高(実数、前年同月比)

### 稼働率は4カ月ぶりに上昇、売上高は5カ月ぶりに減少

- ・主要ホテルは、客室稼働率は73.8%となり、前年同月比1.8%ポイント上昇し4カ月ぶりに前年を上回った。売上高は同2.4%減と5カ月ぶりに前年を下回った。
- ・那覇市内ホテルは、客室稼働率は74.2%と同1.9%ポイント上昇し4カ月ぶりに前年を上回り、売上高は同3.6%減と5カ月ぶりに前年を下回った。リゾート型ホテルは、客室稼働率は73.5%と同1.6%ポイント上昇して前年を上回り、売上高は同1.9%減と4カ月ぶりに前年を下回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

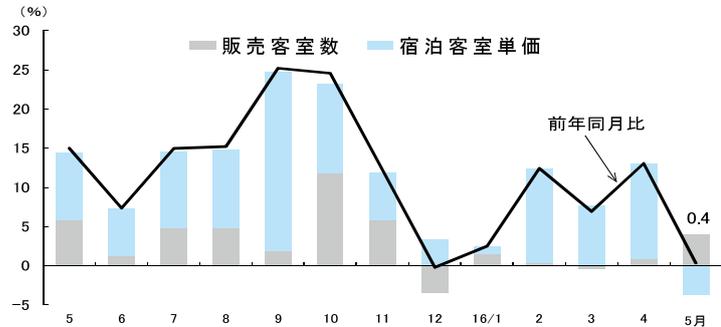
消費関連  
建設関連  
観光関連  
その他

#### ④ 主要ホテル宿泊収入 (前年同月比)

※棒グラフは客室数・単価別寄与度

##### 5カ月連続で増加

- ・主要ホテル売上高のうち宿泊収入は、販売客室数(数量要因)は増加し、宿泊客室単価(価格要因)は低下したことから、前年同月比0.4%増と5カ月連続で前年を上回った。
- ・那覇市内ホテルは、販売客室数、宿泊客室単価ともに上昇し、同5.8%増と27カ月連続で前年を上回った。リゾート型ホテルは、販売客室数は増加し、宿泊客室単価は低下したことから、同1.4%減と5カ月ぶりに前年を下回った。

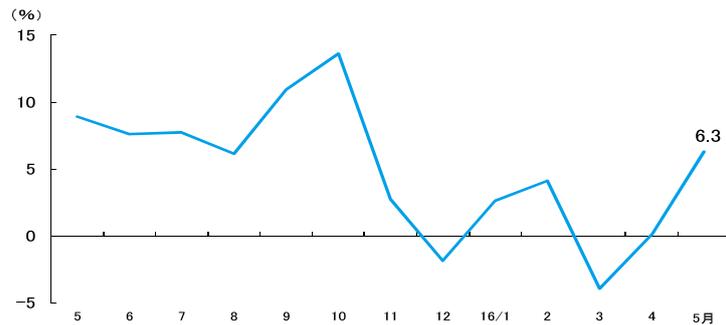


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑤ 主要観光施設の入場者数(前年同月比)

##### 2カ月連続で増加

- ・主要観光施設の入場者数は、前年同月比6.3%増となり、2カ月連続で前年を上回った。

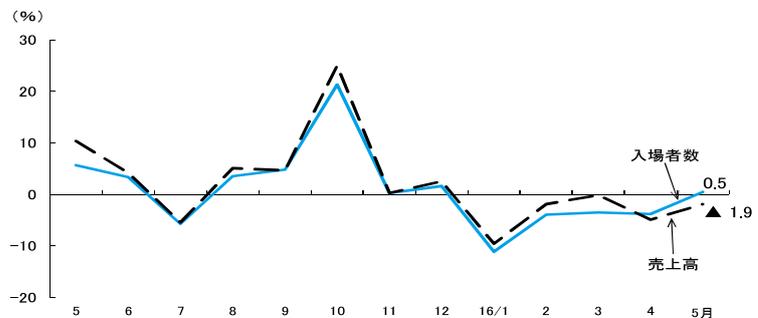


出所:りゅうぎん総合研究所

#### ⑥ 主要ゴルフ場入場者数・売上高(前年同月比)

##### 入場者数は5カ月ぶりに増加、 売上高は5カ月連続で減少

- ・主要ゴルフ場の入場者数は、県外客が増加したことから、前年同月比0.5%増と5カ月ぶりに前年を上回った。
- ・売上高は同1.9%減と5カ月連続で前年を下回った。



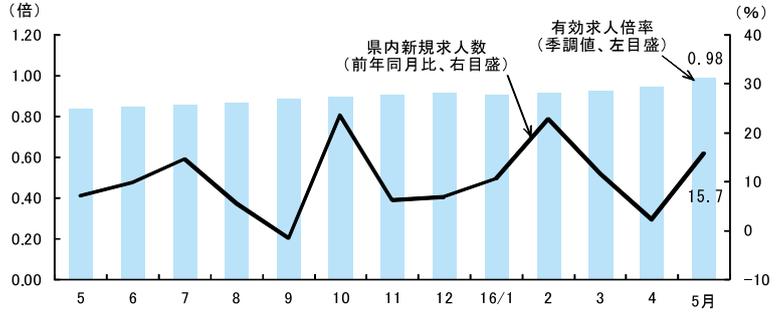
出所:りゅうぎん総合研究所 (注)調査先は8施設(うち県外客については6施設)からなる。

# 雇用関連・その他

## ① 雇用関連（新規求人数と有効求人倍率）

### 新規求人数は増加、有効求人倍率(季調値)は上昇

- ・新規求人数は、前年同月比15.7%増となり8カ月連続で前年を上回った。産業別にみると、卸売業・小売業、医療・福祉などで増加し、不動産業・物品賃貸業、建設業などで減少した。有効求人倍率(季調値)は0.98倍と、前月より0.04ポイント上昇した。
- ・労働力人口は、71万2,000人で同1.7%増となり、就業者数は、67万4,000人で同1.2%増となった。完全失業者数は3万8,000人で同8.6%増となり、完全失業率(季調値)は5.1%と前月より0.2%ポイント改善した。



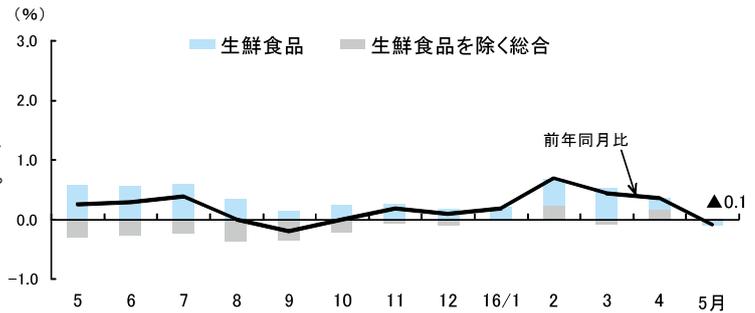
出所: 沖縄労働局  
 (注) 有効求人倍率は、2014年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

## ② 消費者物価指数【総合】(前年同月比)

※棒グラフは品目別寄与度

### 8カ月ぶりに下落

- ・消費者物価指数は、前年同月比0.1%減と8カ月ぶりに前年を下回った。生鮮食品を除く総合は前年同月と同水準だった。
- ・品目別の動きをみると、食料などが上昇し、光熱・水道および交通・通信などは下落した。

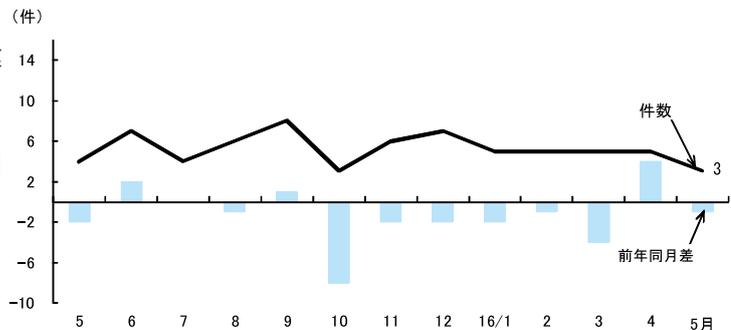


出所: 沖縄県 (注1) 端数処理の関係で寄与度の合計は前年比と一致しないことがある。  
 (注2) 2011年7月より2010年=100に改定された。

## ③ 企業倒産

### 件数、負債総額ともに減少

- ・倒産件数は、3件で前年同月を1件下回った。業種別では、建設業1件(同数)、製造業1件(同数)、サービス業1件(同数)であった。
- ・負債総額は、1億2,200万円となり、前年同月比61.0%の減少だった。



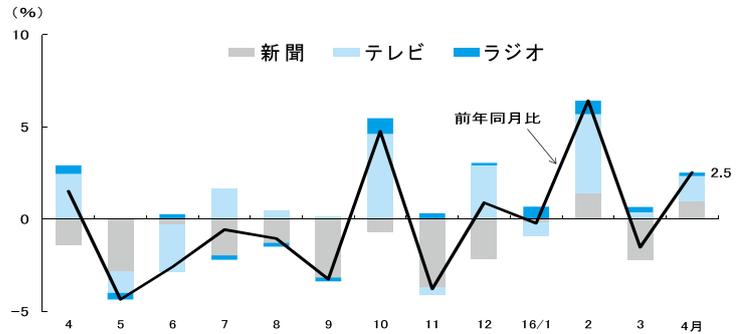
出所: 東京商工リサーチ沖縄支店

#### ④ 広告収入【マスコミ】(前年同月比)

※棒グラフはメディア別寄与度

##### 2カ月ぶりに増加

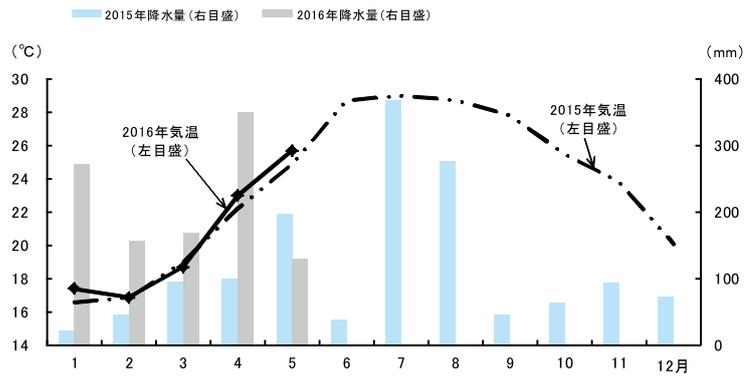
・広告収入(マスコミ:4月)は、前年同月比2.5%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。



出所:りゅうぎん総合研究所

#### 参考 気象:平均気温・降水量【那覇】

- ・平均気温は25.7℃となり、平年(24.0℃)、前年同月(24.9℃)より高かった。降水量は129.5mmと前年同月(197.5mm)より少なかった。
- ・沖縄地方は、上旬と下旬後半は高気圧に覆われて晴れる日が多く、中旬中頃から下旬中頃にかけては梅雨前線の影響で曇りや雨の日が多かった。5月16日ごろに梅雨入りしたとみられ、平年より7日遅く、前年より4日早い梅雨入りとなった。日照時間は平年並みだった。



出所:沖縄気象台

消費関連

建設関連

観光関連

その他



### 宜野湾市「はごろも祭り」

#### 需要生む一大イベント

琉球銀行 普天間支店長  
比嘉 良明

宜野湾市は、イベントや伝統行事、祭りの盛んな地域です。表のとおり、ほぼ毎月のように大きな催しが開催されています。

こうした催しは、規模によって違いはありますが、消費需要を生んでくれるため、地域の活性化につながります。例えば、イベントの準備や運営に伴う支出、訪れる人の飲食支出や物品購入の支出などです。宿泊が伴えば支出はより大きくなるでしょう。

また、イベントがメディアに取り上げられることによって注目が集まり、市内の観光スポットを訪れる人が増えるはずで

そこで新たな消費需要が発生します。地元の特産品の認知も広がるでしょう。こうした動きに伴って、地域の生産活動が活発になります。

宜野湾市のイベントの中でも「はごろも祭り」は、一大イベントです。毎年8月中旬の土日に行われ、2日間の観客動員数は10万人以上といわれます。はごろも祭りは、同市真志喜の森の川を舞台にした「はごろも伝説」をもとに命名されました。天女と村人の間にできた子どもが後に中山王・察度王となり、琉球に繁栄をもたらしたという14世紀初頭の歴史の伝承があります。祭りの初日に行われる「察度王歴史絵巻行列」という大行列は、その察度王が同市の偉人としてたたえられていることを表しています。

はごろも祭りが全国から注目される祭りになるのも夢ではありません。同市の発展に貢献する祭りとして、今後の成長が楽しみです。

宜野湾市のイベント・伝統行事・祭り

|     |                     |
|-----|---------------------|
| 2月  | 横浜 DeNA ベイスターズキャンプ  |
| 4月  | 沖縄国際映画祭             |
|     | ぎのわんトロピカルビーチ開き      |
|     | 琉球海炎祭               |
|     | 我如古スンサーミー           |
| 6月  | はごろもカップ港ふれあいフェスティバル |
| 7月  | 大綱挽き                |
| 8月  | はごろも祭り              |
|     | エイサー                |
| 9月  | 青年エイサー祭り            |
|     | 獅子舞                 |
| 10月 | 普天間宮例大祭             |
| 11月 | 宜野湾市産業まつり           |
| 12月 | ぎのわん車いすマラソン大会       |

出所：(一社) 宜野湾市観光振興協会ホームページより作成



### 与那原町の総合戦略

#### 銀行のノウハウで支援

琉球銀行 与那原支店長  
平良 吉彦

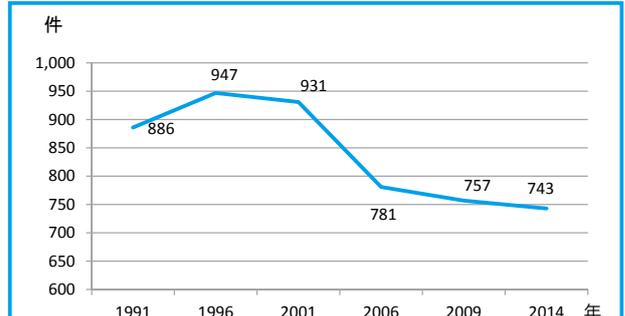
国は、2014年に「まち・ひと・しごと創生法」を制定しました。その内容は、少子高齢化の進展に対応し、それぞれの地域で住み良い環境と活力のある社会を築くために総合的かつ計画的に諸施策を実施することとしています。これを受けて各地方自治体は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、実行に取り組み始めています。総合戦略の推進は、一般に地域の金融機関と連携して行われます。その例として、弊行が与那原町と連携して進めている事業を紹介します。

与那原町は15年度に「与那原町創生総合戦略・人口ビジョン」を策定し、ことしの3月に弊行と「地方創生に係る包括連携協定に関する協定」を結びました。弊行は人材育成や産業振興などに連携して取り組みます。

具体的には、新規事業づくり、企業の事業拡大、企業の資金繰り、安定した雇用の促進、特産品のブランド化や6次産業化といった施策の中で、銀行がこれまで積み上げてきたノウハウを行政に提供し、推進を後押しします。これによって伸び悩んでいる事業所数の増加などが期待されます。

東浜マリントウン地区には、20年度の完成をめどに大規模なMICE施設が建設されます。県の試算によると、来場者数は77万人、5,400人の雇用効果と年間400億円の経済効果が見込まれています。それを見据えた新規事業の開発、アフターMICEに伴う観光産業の活性化なども重要な施策となってきます。

与那原町の事業所数



出所：総務省統計局「事業所・企業統計調査」「経済センサス基礎調査」



## 那覇市古島地区

### 交通環境整い魅力向上

琉球銀行 古島支店長  
 栗国 修

那覇市の古島地区は、国道330号線古島インターチェンジ周辺の一部と、沖縄都市モノレールの古島駅から市立病院前駅に伸びる環状2号線の南側一帯に広がる落ち着いた街です。

環状2号線とは、「沖縄県道82号那覇糸満線」の一部を指し、安謝交差点から一日橋交差点の間を通称名で呼んでいるものです。1972年から安謝交差点を起点に整備が進められ、古島地区はその整備とともに発展してきました。

那覇市立病院は、1980年に設立された、県内でも中核となる総合病院の一つです。それを中心に地区内には病院、クリニック、動物病院、薬局、介護・福祉施設が多く並びます。また、小・中・高校が隣接し、教育福祉会館が立地しているほか各種の学習教室が集まり、医療や福祉、教育の充実した環境にあるのが同地区の特徴です。

那覇新都心地区の都市開発と88年にスタートした真嘉比地区の区画整理事業によって、隣接する古島地区の人も高まりました。加えて、2003年に沖縄都市モノレールの古島駅と市立病院前駅が開業し、交通の利便性が一段と向上しました。古島駅の乗客数をみると、一日平均2,377人(16年5月末)、市立病院前駅が同816人となっており、両駅で一日平均3,193人の乗客があります。これはモノレール駅の中で6番目に相当します。

環状2号線とモノレールが走る同地区は、交通環境にも恵まれており、今後も街は変化し続けると考えられます。

沖縄モノレール駅別乗客数 (1日当たり平均)

|        |         |            |        |        |
|--------|---------|------------|--------|--------|
| 那覇空港   | 赤嶺      | 小禄         | 奥武山公園  | 壺川     |
| 5,291人 | 2,061人  | 3,404人     | 1,956人 | 1,902人 |
| 旭橋     | 県庁前     | 美栄橋        | 牧志     | 安里     |
| 3,038人 | 6,055人  | 2,610人     | 3,043人 | 1,999人 |
| おもろまち  | 古島      | 市立病院前      | 儀保     | 首里     |
| 5,308人 | 2,377人  | 816人       | 1,662人 | 3,424人 |
| 合計     | 44,946人 | 2016年5月末現在 |        |        |

出所：沖縄県ホームページ



## 銀行とシステム

### 常に変化 経営戦略の要

琉球銀行総合企画部 共同化推進室 調査役  
 仲西 圭

銀行とコンピュータシステムの関わりは古く、1965年に大手銀行がオンラインシステムを導入したのが始まりといわれます。

それから約50年になりますが、この間で同システムの役割は大きく変化しました。

銀行がコンピュータシステムを導入した当初のねらいは、日常業務の合理化を進めることでした。行員が行う事務処理の補助に始まり、やがて手作業で行う事務処理全般を代替するようになりました。

80年代になると金融自由化の進展を背景に、銀行では収益管理やリスク管理が細かく求められるようになり、その分野でもコンピュータシステムの開発が進みました。

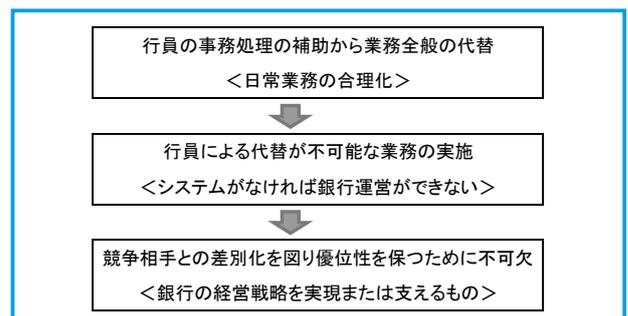
行員による代替が不可能な業務を担うようになったのです。この頃から、コンピュータシステムがなければ、銀行運営が成り立たないと言われるようになりました。

90年代になり、銀行業界が本格的な競争時代を迎えると、その役割がさらに預金商品の多様化や現金自動支払機(ATM)の機能強化、インターネットバンキングの普及など戦略的な分野にも広がるようになりました。

金融業界は現在、他業態からの参入もあり、これまで以上の競争時代を迎えています。

こうした中で競争力を備え優位を保つには、コンピュータシステムを駆使した経営戦略が重要になります。コンピュータシステムの役割は、ますます大きくなるとみられます。

銀行におけるコンピュータシステムの役割の変化





An instinct for growth™

 経理部門の基本有用情報  
 太陽グラントソントン  
 今月の経理情報 2016年6月

## 今回のテーマ

## 災害に関する費用の主な税務上の取り扱い

災害に関して、法人、個人が支出する費用の取り扱いについては次のとおりです。

## 1. 法人が支出する費用の取り扱い

| 内 容             |                                      | 取 扱 い   |
|-----------------|--------------------------------------|---|
| 義援金を支払った場合      | 国または災害対策本部等に対するもの                    | 全額損金算入  |
|                 | 日本赤十字社、認定 NPO 法人等に対するもの              | 原則：「特別損金算入限度額」※1 まで損金算入<br>財務大臣が指定したもの：全額損金算入     |
|                 | 上記以外の NPO 法人等の人格のない社団に対するもの          | 「一般寄付金の損金算入限度額」※2 まで損金算入<br>最終的に国等へ抛出されるもの：全額損金算入 |
| 災害見舞金を支払った場合    | 災害により被害を受けた従業員等またはその親族に一定の基準により支払うもの | 福利厚生費として全額損金算入                                    |
|                 | 取引先等に対して取引関係の維持・回復を目的として支払うもの        | 交際費又は寄付金に該当せず、全額損金算入                              |
| 自社製品を被災者に提供した場合 |                                      | 交際費又は寄付金に該当せず、全額損金算入                              |

※1 ※2 … [https://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/koho/kurashi/html/04\\_3.htm](https://www.nta.go.jp/shiraberu/ippanjoho/pamph/koho/kurashi/html/04_3.htm) 参照

## 2. 個人が支出する費用の取り扱い

| 内 容        |                     | 取 扱 い   |
|------------|---------------------|---|
| 義援金を支払った場合 | 災害対策本部、日本赤十字社に対するもの | 寄付金控除（所得控除）の対象<br>（その年中に支出した「特定寄付金」※3 の額の合計額）－2 千円＝寄付金控除額                                 |
|            | 認定 NPO 法人に対するもの     | 次の①、②いずれかの選択適用<br>①寄付金控除（所得控除）<br>②寄付金特別控除（税額控除）<br>（その年中に支出した寄付金の合計額－2 千円）<br>×40%＝税額控除額 |

※3 … <http://www.nta.go.jp/taxanswer/shotoku/1150.htm> 参照

## お見逃しなく！

- ① 義援金について損金算入や寄付金控除等を受ける場合、受領証や振込票の控が必要です。
- ② 個人が受ける災害見舞金は、贈与者との関係等から社会通念上相当と認められるものについては、所得税、贈与税が課税されません。

## 沖 縄

**6.2** 国土交通省によると、15年（1～12月）中の日本の港湾へのクルーズ船寄港回数は、過去最高の1,454回（前年比250回増）となった。港湾別では博多港が259回と最多で、横浜港に替わり初めて首位になった。県内は那覇港が115回で4位、石垣港が84回で6位、平良港（宮古島）が13回で20位だった。

**6.2** 沖縄国税事務所が発表した15年分の確定申告状況によると、申告納税額のあるもの（納税人員）は72,181人（前年比6.7%増）、所得金額は3,632億8,300万円（同8.0%増）と、どちらも過去最高を更新した。申告納税額は同10.3%増の288億7,900万円となり、6年連続で増加した。

**6.7** 帝国データバンク沖縄支店の発表によると、15年以降に県内企業で女性社長が就任した企業は76社であった。うち社長交代企業は70社、新設企業は6社だった。女性社長の年代別では、社長交代企業で「40代」（構成比34.8%）が最多だった。

**6.9** 沖縄県建設産業団体連合会主催により、沖縄コンベンションセンターで「建設産業合同企業説明会」が開催された。県内の建設業界として初めての開催となり、土木、建築、電気設備関係など県内企業29社が参加した。

**6.13** 株式会社西京銀行（山口県）が、那覇市久茂地に沖縄事務所を新設した。那覇空港のハブ機能を活用したアジア向けビジネス等、顧客のアジア圏への販路拡大サポートを強化する。

**6.14** 東京商工リサーチ沖縄支店の発表によると、15年の沖縄県内の新設法人は前年比226社（15.2%）増の1,708社となり、統計を取り始めた09年以降最多件数となった。普通法人数（2万754社）に占める新設法人数の割合（新設法人率）は8.2%となり、都道府県別で6年連続で最も高くなった。

## 全国・海外

**6.1** 財務省の「四半期法人企業統計調査」（16年1～3月期）によると、全産業（金融業、保険業を除く）の売上高は前年同期比3.3%減の332兆874億円で、経常利益は同9.3%減の15兆8,997億円となった。また、設備投資額は同4.2%増の13兆6,805億円となった。

**6.1** 安倍晋三首相は、17年4月に予定していた消費税率の10%への引き上げを19年10月まで30カ月（2年半）延期することを表明した。また引き上げの際は軽減税率を導入する考えも明らかにした。

**6.7** 世界銀行は、16年の世界経済見通しを今年1月次に予測した2.9%から2.4%へ、17年の見通しを3.1%から2.8%へ引き下げた。日本は16、17年ともに0.5%の予測となり、1月時予測より、それぞれ0.8%、0.4%引き下げた。

**6.13** 国土交通省は、地方公共団体あてに宿泊施設の整備に着目した容積率緩和制度を通知した。宿泊施設の新築や増改築、既存建築物を宿泊施設へ用途変更する際の容積率を、宿泊施設部分の割合に応じて都市計画で定められている最高限度（指定容積率）の1.5倍以下かつ、+300%を上限に緩和する。

**6.15** 観光庁が発表した15年の「旅行・観光消費動向調査」（確報）によると、日本人国内旅行消費額は20兆4,090億円（前年比10.8%増）だった。また、日本人国内延べ旅行者数は6億472万人（同1.6%増）、日本人国内旅行の一人1回当たり旅行単価は33,750円（同9.1%増）となった。

**6.24** 英国選挙管理委員会の発表によると、英国の欧州連合（EU）からの離脱の是非を問う国民投票の最終結果は、離脱派が約1,741万票（51.9%）、残留派が約1,614万票（48.1%）となり離脱派が勝利した。投票率は72.2%だった。

# 沖縄県内の主要経済指標

| 暦年     | 百貨店<br>売上高   | スーパー<br>売上高<br>(既存店) | スーパー<br>売上高<br>(全店) | 電気製品<br>卸売額 | 新車販売<br>台数 | 中古自動車<br>販売台数 | 公共工事請負額          |       | 建築着工床面積 |       |
|--------|--------------|----------------------|---------------------|-------------|------------|---------------|------------------|-------|---------|-------|
|        | 前年比          | 前年比                  | 前年比                 | 前年比         | 前年比        | 前年比           | 百万円              | 前年比   | 千平米     | 前年比   |
| 2013   | 2.5          | 1.0                  | 3.4                 | 18.1        | 7.1        | 8.9           | 266,778          | 12.2  | 2,136.7 | 20.8  |
| 2014   | 6.9          | 2.5                  | 3.3                 | ▲6.2        | 7.8        | 4.8           | 294,689          | 10.5  | 2,097.5 | ▲1.8  |
| 2015   | 14.5         | 3.1                  | 5.6                 | ▲6.9        | 7.8        | 2.3           | 321,300          | 9.0   | 2,037.4 | ▲2.9  |
| 3      | 3.5          | ▲6.4                 | ▲5.2                | ▲20.6       | ▲1.4       | 6.1           | 53,096           | 151.7 | 143.2   | ▲36.1 |
| 2015 4 | 32.8         | 11.8                 | 13.8                | ▲2.4        | 1.3        | 3.2           | 11,991           | ▲47.8 | 207.4   | ▲38.9 |
| 5      | 25.0         | 7.0                  | 10.0                | ▲7.6        | ▲9.1       | ▲2.5          | 12,215           | ▲37.9 | 159.3   | 18.2  |
| 6      | 10.8         | 4.5                  | 7.3                 | 13.5        | ▲10.7      | 9.6           | 34,358           | 74.0  | 189.9   | 12.8  |
| 7      | 14.2         | 1.1                  | 4.5                 | ▲4.1        | 15.5       | 5.3           | 33,472           | ▲28.3 | 162.4   | 20.2  |
| 8      | 32.7         | 5.5                  | 8.6                 | ▲6.6        | ▲2.1       | 1.5           | 23,352           | 0.8   | 222.9   | 32.4  |
| 9      | 17.3         | 3.6                  | 6.8                 | 2.4         | ▲6.6       | ▲10.8         | 30,835           | ▲2.1  | 158.9   | 16.5  |
| 10     | 12.3         | 3.2                  | 6.4                 | 13.8        | ▲6.1       | 6.6           | 48,301           | 74.7  | 192.1   | 51.9  |
| 11     | 3.8          | 1.5                  | 4.7                 | ▲2.0        | ▲13.1      | 7.5           | 14,816           | ▲15.4 | 184.9   | 34.1  |
| 12     | 4.2          | 1.6                  | 4.1                 | 7.6         | ▲11.4      | ▲0.7          | 19,114           | ▲16.8 | 134.5   | ▲31.1 |
| 2016 1 | 4.0          | 5.8                  | 8.5                 | 9.8         | ▲3.8       | ▲0.7          | 12,202           | ▲15.0 | 215.1   | 69.9  |
| 2      | 10.5         | 8.4                  | 11.1                | 2.3         | 0.5        | 5.5           | 44,788           | 76.4  | 154.3   | ▲0.7  |
| 3      | 0.7          | 1.0                  | 3.3                 | ▲4.1        | ▲9.6       | 2.5           | 39,972           | ▲24.7 | 120.1   | ▲16.1 |
| 4      | 4.9          | 4.7                  | 6.2                 | 11.1        | 22.3       | 0.6           | 17,690           | 47.5  | 182.1   | ▲12.2 |
| 5      | 1.8          | 5.4                  | 6.1                 | 7.0         | 20.5       | 13.8          | 14,261           | 16.8  | -       | -     |
| 出所     | りゅうぎん総合研究所調べ |                      |                     |             | 自販協        | 中古<br>自販協     | 西日本建設業保証<br>沖縄支店 |       | 国土交通省   |       |

注) 百貨店売上高は、2014年9月より調査先が一部変更となった。

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

| 暦年     | 新設住宅着工戸数 |       | 建設<br>受注額    | セメント<br>出荷数量 | 生コン<br>出荷数量 | 鋼材<br>売上高 | 木材<br>売上高           | 入域観光客数  |                | 観光施設<br>入場者数 |
|--------|----------|-------|--------------|--------------|-------------|-----------|---------------------|---------|----------------|--------------|
|        | 戸        | 前年比   | 前年比          | 前年比          | 前年比         | 前年比       | 前年比                 | 千人      | 前年比            | 前年比          |
| 2013   | 16,618   | 30.7  | 11.3         | 7.3          | 13.1        | 15.2      | 10.3                | 6,413.7 | 9.9            | 9.2          |
| 2014   | 15,426   | ▲7.2  | 10.7         | 18.3         | 4.6         | 9.4       | 9.1                 | 7,058.3 | 10.1           | 6.7          |
| 2015   | 16,136   | 4.6   | 22.7         | 3.4          | ▲1.2        | ▲11.0     | ▲5.0                | 7,763.0 | 10.0           | 6.2          |
| 3      | 980      | ▲36.4 | 103.6        | 9.8          | 2.5         | ▲12.8     | ▲10.6               | 659.0   | 4.6            | 1.2          |
| 2015 4 | 1,172    | ▲17.3 | ▲55.9        | 2.1          | ▲6.1        | ▲5.0      | 12.7                | 635.4   | 12.3           | 5.3          |
| 5      | 1,254    | 12.4  | 97.8         | ▲12.5        | ▲16.9       | ▲17.0     | ▲10.9               | 611.4   | 8.9            | 8.9          |
| 6      | 1,828    | 27.7  | 97.9         | 3.1          | ▲0.2        | ▲0.5      | 5.6                 | 610.0   | 9.5            | 7.6          |
| 7      | 1,362    | 16.2  | 28.9         | 20.6         | 25.5        | ▲12.0     | ▲6.4                | 714.0   | 9.2            | 7.7          |
| 8      | 1,764    | 19.0  | ▲32.9        | 11.5         | 8.7         | ▲21.0     | ▲15.0               | 797.5   | 8.8            | 6.1          |
| 9      | 1,527    | 17.4  | 100.2        | 5.3          | 5.0         | ▲6.3      | ▲2.2                | 724.7   | 10.0           | 10.9         |
| 10     | 1,118    | 9.8   | 58.9         | ▲0.2         | ▲5.9        | ▲11.5     | ▲14.2               | 696.8   | 18.9           | 13.6         |
| 11     | 1,306    | 7.4   | 7.0          | ▲5.3         | ▲14.5       | ▲2.4      | ▲5.6                | 619.6   | 9.8            | 2.7          |
| 12     | 1,306    | ▲4.5  | 74.8         | ▲9.4         | ▲13.9       | ▲13.2     | ▲4.4                | 613.6   | 11.7           | ▲1.8         |
| 2016 1 | 1,366    | 15.7  | 125.1        | ▲16.4        | ▲20.4       | ▲21.1     | ▲8.4                | 581.6   | 9.7            | 2.6          |
| 2      | 1,000    | ▲25.3 | 11.7         | ▲1.8         | ▲13.8       | ▲3.7      | ▲3.9                | 622.5   | 13.0           | 4.1          |
| 3      | 1,062    | 8.4   | 20.8         | ▲10.8        | ▲26.4       | ▲24.4     | ▲6.2                | 709.2   | 7.6            | ▲3.9         |
| 4      | 1,409    | 20.2  | ▲1.5         | ▲8.8         | ▲17.3       | ▲11.8     | ▲5.5                | 681.5   | 7.3            | 0.1          |
| 5      | -        | -     | 5.2          | ▲0.7         | ▲3.6        | ▲14.5     | 0.6                 | 684.6   | 12.0           | 6.3          |
| 出所     | 国土交通省    |       | りゅうぎん総合研究所調べ |              |             |           | 県文化観光スポーツ部<br>観光政策課 |         | りゅうぎん<br>総合研究所 |              |

注) 入域観光客数は、2011年以降の数値について混在率の変更により遡及修正した。Pは速報値。

注) 観光施設入場者数は、2011年1月より調査先が6施設から5施設となった。

| 暦年     | ホテル稼働率<br>(実数) |      | ホテル売上高<br>(前年比) |      | ゴルフ場<br>入場者数<br>前年比 | 広告収入<br>前年比         | 入域観光客数<br>のうち外国客 |       | 鉱工業生産指数<br>(季調値) |       |
|--------|----------------|------|-----------------|------|---------------------|---------------------|------------------|-------|------------------|-------|
|        | 市内             | リゾート | 市内              | リゾート |                     |                     | 千人               | 前年比   | 2010年=100        | 前年比   |
| 2013   | 75.3           | 73.4 | 2.3             | 4.6  | 3.5                 | 0.4                 | 550.8            | 46.2  | 102.5            | 6.3   |
| 2014   | 79.0           | 77.8 | 5.1             | 5.0  | 0.7                 | 4.0                 | 893.5            | 62.2  | 104.6            | 2.0   |
| 2015   | 81.8           | 78.9 | 4.5             | 7.2  | 4.1                 | ▲1.2                | 1,501.2          | 68.0  | 100.4            | ▲4.0  |
| 3      | 84.4           | 79.9 | ▲6.9            | ▲2.0 | 3.4                 | ▲4.3                | 79.0             | 62.2  | 103.7            | ▲6.0  |
| 2015 4 | 81.1           | 78.7 | 5.2             | ▲0.3 | 3.5                 | 1.5                 | 130.6            | 76.7  | 104.4            | ▲0.1  |
| 5      | 72.3           | 71.8 | 9.3             | 10.8 | 5.7                 | ▲4.4                | 133.7            | 45.8  | 96.2             | ▲9.2  |
| 6      | 76.5           | 75.7 | 2.5             | 0.3  | 3.4                 | ▲2.6                | 149.2            | 56.2  | 99.6             | ▲0.4  |
| 7      | 86.0           | 87.4 | 7.1             | 3.2  | ▲5.7                | ▲0.6                | 163.0            | 76.6  | 104.9            | 1.8   |
| 8      | 87.1           | 87.2 | 10.0            | 4.3  | 3.5                 | ▲1.0                | 154.7            | 83.7  | 97.1             | ▲5.1  |
| 9      | 89.3           | 89.1 | 16.3            | 14.4 | 4.8                 | ▲3.3                | 149.6            | 49.7  | 98.1             | ▲11.3 |
| 10     | 82.9           | 86.0 | 14.9            | 19.2 | 21.3                | 4.8                 | 145.1            | 54.7  | 95.6             | ▲12.8 |
| 11     | 83.1           | 74.1 | ▲1.2            | 7.2  | 0.3                 | ▲3.8                | 113.4            | 101.1 | 101.8            | ▲6.3  |
| 12     | 71.7           | 60.6 | ▲4.3            | ▲2.1 | 1.6                 | 0.9                 | 128.3            | 98.3  | 102.6            | ▲9.2  |
| 2016 1 | 79.1           | 71.4 | 0.6             | ▲0.1 | ▲11.1               | ▲0.2                | 114.9            | 69.2  | 88.6             | ▲13.9 |
| 2      | 89.4           | 82.3 | 9.3             | 5.5  | ▲3.9                | 6.4                 | 149.9            | 72.9  | 88.7             | ▲16.2 |
| 3      | 81.2           | 77.0 | 0.6             | 2.6  | ▲3.5                | ▲1.5                | 137.9            | 74.6  | 106.5            | 1.0   |
| 4      | 80.2           | 78.8 | 12.3            | 7.7  | ▲3.8                | 2.5                 | 162.2            | 24.2  | -                | -     |
| 5      | 74.2           | 73.5 | ▲3.6            | ▲1.9 | 0.5                 | -                   | 206.5            | 54.5  | -                | -     |
| 出所     | りゅうぎん総合研究所調べ   |      |                 |      |                     | 県文化観光スポーツ部<br>観光政策課 |                  |       | 県企画部統計課          |       |

注) ホテルは、2016年3月より調査先が27ホテルから26ホテルとなった。

注) 2012年5月より外国客の入域観光客数を掲載した。

注) 鉱工業生産指数の暦年値、前年比は原指数の増減率。 2013年11月より2010年=100に改定された。

| 暦年     | 企業倒<br>産件数<br>件 | 負債総額   |         | 消費者<br>物価指数<br>前年比 | 失業率<br>(季調値)<br>% | 就業者数<br>前年比 | 有効求人<br>倍率<br>(季調値)<br>倍 | 新 規<br>求人人数<br>(県内)<br>前年比 | 通関<br>輸出<br>百万円 | 通関<br>輸入<br>百万円 |
|--------|-----------------|--------|---------|--------------------|-------------------|-------------|--------------------------|----------------------------|-----------------|-----------------|
|        |                 | 百万円    | 前年比     |                    |                   |             |                          |                            |                 |                 |
| 2013   | 79              | 38,418 | 257.5   | 0.3                | 5.8               | 2.4         | 0.53                     | 17.0                       | 83,423          | 309,989         |
| 2014   | 78              | 10,112 | ▲73.7   | 2.5                | 5.4               | 0.5         | 0.69                     | 14.7                       | 80,589          | 380,584         |
| 2015   | 68              | 10,387 | 2.7     | 0.6                | 5.2               | 2.9         | 0.84                     | 12.1                       | 42,785          | 267,346         |
| 3      | 9               | 451    | 16.8    | 2.0                | 5.5               | 2.3         | 0.80                     | 12.3                       | 3,185           | 30,453          |
| 2015 4 | 1               | 62     | ▲95.3   | 0.1                | 4.4               | 5.9         | 0.81                     | 28.5                       | 2,956           | 15,736          |
| 5      | 4               | 313    | ▲54.2   | 0.3                | 4.8               | 6.2         | 0.83                     | 7.0                        | 2,910           | 29,378          |
| 6      | 7               | 546    | ▲73.9   | 0.3                | 5.4               | 3.5         | 0.84                     | 9.7                        | 1,477           | 14,221          |
| 7      | 4               | 1,685  | 366.8   | 0.4                | 5.3               | 2.9         | 0.85                     | 14.6                       | 1,574           | 34,419          |
| 8      | 6               | 2,936  | 321.2   | 0.0                | 4.6               | 4.3         | 0.86                     | 5.5                        | 1,333           | 22,386          |
| 9      | 8               | 649    | ▲19.7   | ▲0.2               | 5.0               | 5.4         | 0.88                     | ▲1.6                       | 1,335           | 14,199          |
| 10     | 3               | 333    | ▲57.0   | 0.0                | 5.3               | 3.1         | 0.89                     | 23.7                       | 1,553           | 22,800          |
| 11     | 6               | 665    | 36.6    | 0.2                | 4.7               | 2.7         | 0.90                     | 6.3                        | 9,181           | 29,089          |
| 12     | 7               | 919    | 14.0    | 0.1                | 5.4               | 1.8         | 0.91                     | 7.0                        | 1,670           | 13,831          |
| 2016 1 | 5               | 375    | 0.0     | 0.2                | 4.8               | 3.6         | 0.90                     | 10.6                       | 1,079           | 27,789          |
| 2      | 5               | 282    | ▲80.6   | 0.7                | 4.3               | 5.6         | 0.91                     | 22.8                       | 1,189           | 16,699          |
| 3      | 5               | 2,050  | 354.5   | 0.4                | 4.5               | 3.6         | 0.92                     | 11.6                       | 4,536           | 22,168          |
| 4      | 5               | 596    | 861.3   | 0.4                | 5.3               | 0.0         | 0.94                     | 2.3                        | 1,817           | 9,279           |
| 5      | 3               | 122    | ▲61.0   | ▲0.1               | 5.1               | 1.2         | 0.98                     | 15.7                       | 3,740           | 12,197          |
| 出所     | 東京商工リサーチ沖縄支店    |        | 県企画部統計課 |                    |                   | 沖縄労働局       |                          | 沖縄地区税関                     |                 |                 |

注) 消費者物価指数は、2011年7月より2010年=100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2015年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

# 沖縄県内の金融統計

| 年度     | 銀行券発行額   | 銀行券還収額 | 銀行券増減<br>(▲還収超) | 貸出金利<br>(地銀3行) | 手形交換高(金額は億円) |       |       |       | 不渡実数<br>(金額) | 不渡発生率 |
|--------|----------|--------|-----------------|----------------|--------------|-------|-------|-------|--------------|-------|
|        | 億円       | 億円     | 億円              | %              | 千枚           | 前年比   | 金額    | 前年比   | 百万円          | %     |
| 2013FY | 3,137    | 4,260  | ▲1,120          | 2.065          | 267          | ▲2.3  | 4,420 | 2.2   | 505          | 0.114 |
| 2014FY | 3,140    | 4,405  | ▲1,320          | 1.955          | 253          | ▲5.4  | 4,162 | ▲5.8  | 349          | 0.084 |
| 2015FY | 3,247    | 4,470  | ▲1,225          | 1.822          | 245          | ▲3.1  | 4,129 | ▲0.8  | 331          | 0.080 |
| 3      | 248      | 388    | ▲139            | 1.915          | 24           | 7.2   | 411   | 3.2   | 5            | 0.013 |
| 2015 4 | 310      | 299    | 10              | 1.921          | 21           | ▲3.9  | 377   | ▲3.7  | 0            | 0.000 |
| 5      | 186      | 444    | ▲258            | 1.904          | 19           | ▲6.0  | 305   | ▲7.2  | 5            | 0.015 |
| 6      | 271      | 343    | ▲71             | 1.897          | 24           | ▲1.9  | 416   | 0.7   | 1            | 0.003 |
| 7      | 232      | 383    | ▲150            | 1.887          | 21           | ▲6.5  | 372   | ▲0.3  | 27           | 0.073 |
| 8      | 256      | 375    | ▲118            | 1.875          | 20           | 7.3   | 332   | 10.3  | 34           | 0.102 |
| 9      | 265      | 444    | ▲179            | 1.866          | 20           | ▲13.6 | 361   | ▲9.6  | 40           | 0.112 |
| 10     | 235      | 359    | ▲124            | 1.858          | 18           | ▲15.5 | 277   | ▲19.1 | 49           | 0.176 |
| 11     | 230      | 304    | ▲73             | 1.845          | 21           | 22.0  | 373   | 47.9  | 31           | 0.084 |
| 12     | 593      | 165    | 427             | 1.822          | 20           | ▲10.0 | 313   | ▲8.8  | 18           | 0.059 |
| 2016 1 | 110      | 587    | ▲477            | 1.807          | 18           | ▲3.0  | 286   | ▲0.7  | 17           | 0.061 |
| 2      | 253      | 352    | ▲99             | 1.794          | 22           | 13.3  | 348   | 8.0   | 29           | 0.085 |
| 3      | 306      | 415    | ▲109            | 1.758          | 21           | ▲10.4 | 371   | ▲9.6  | 79           | 0.213 |
| 4      | 293      | 253    | 40              | 1,749          | 17           | ▲17.6 | 297   | ▲21.2 | 10           | 0.034 |
| 5      | -        | -      | -               | -              | 22           | 15.7  | 388   | 27.2  | 27           | 0.069 |
| 出所     | 日本銀行那覇支店 |        |                 |                | 那覇手形交換所      |       |       |       |              |       |

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

注) 不渡発生率は、不渡実数(金額)÷手形交換高(金額)×100

| 年度     | 地銀3行預金量<br>(信託勘定含む未残) |     | 地銀3行融資量<br>(信託勘定含む未残) |     | 県内金融機関<br>の預貯金残高<br>(郵便貯金は含まない) |     | 沖縄振興開発<br>金融公庫融資量<br>(未残) |      | 沖縄県信用保証協会<br>債務残高<br>(未残) |      |
|--------|-----------------------|-----|-----------------------|-----|---------------------------------|-----|---------------------------|------|---------------------------|------|
|        | 億円                    | 前年比 | 億円                    | 前年比 | 億円                              | 前年比 | 億円                        | 前年比  | 億円                        | 前年比  |
| 2013FY | 42,266                | 1.4 | 29,713                | 4.3 | 41,516                          | 3.3 | 8,176                     | ▲8.5 | 1,554                     | ▲7.9 |
| 2014FY | 44,575                | 5.5 | 31,332                | 5.5 | 42,849                          | 3.2 | 8,152                     | ▲0.3 | 1,391                     | ▲8.8 |
| 2015FY | 45,359                | 1.8 | 33,039                | 5.4 | 44,933                          | 4.9 | 8,057                     | ▲1.2 | 1,278                     | ▲8.1 |
| 3      | 44,575                | 5.5 | 31,332                | 5.5 | 43,547                          | 4.7 | 8,152                     | ▲0.3 | 1,391                     | ▲8.8 |
| 2015 4 | 44,875                | 4.5 | 30,575                | 5.4 | 44,496                          | 4.3 | 8,108                     | 0.1  | 1,341                     | ▲8.5 |
| 5      | 45,025                | 4.2 | 30,721                | 5.3 | 44,596                          | 4.4 | 8,070                     | 0.1  | 1,314                     | ▲6.7 |
| 6      | 45,281                | 5.0 | 30,802                | 5.0 | 45,243                          | 4.3 | 8,011                     | 0.4  | 1,301                     | ▲9.8 |
| 7      | 45,079                | 4.4 | 30,969                | 5.0 | 45,653                          | 5.0 | 7,931                     | ▲0.1 | 1,297                     | ▲9.4 |
| 8      | 45,012                | 3.9 | 31,121                | 5.1 | 45,584                          | 5.4 | 7,902                     | ▲0.3 | 1,290                     | ▲9.7 |
| 9      | 45,243                | 3.6 | 31,637                | 4.9 | 45,923                          | 5.2 | 7,801                     | ▲3.2 | 1,310                     | ▲8.6 |
| 10     | 45,108                | 5.2 | 31,373                | 4.7 | 45,655                          | 5.7 | 7,834                     | ▲2.4 | 1,308                     | ▲8.6 |
| 11     | 45,602                | 4.4 | 31,688                | 5.4 | 45,856                          | 5.5 | 7,837                     | ▲1.9 | 1,302                     | ▲7.2 |
| 12     | 45,717                | 4.7 | 32,188                | 5.9 | 45,874                          | 5.2 | 7,827                     | ▲1.4 | 1,292                     | ▲8.5 |
| 2016 1 | 44,840                | 3.5 | 32,144                | 5.7 | 45,598                          | 4.6 | 7,782                     | ▲1.7 | 1,275                     | ▲9.5 |
| 2      | 45,128                | 3.5 | 32,402                | 5.9 | 45,393                          | 5.1 | 7,738                     | ▲1.9 | 1,269                     | ▲8.9 |
| 3      | 45,359                | 1.8 | 33,039                | 5.4 | 45,407                          | 4.3 | 8,057                     | ▲1.2 | 1,278                     | ▲8.1 |
| 4      | 45,990                | 2.5 | 32,323                | 5.7 | 46,378                          | 4.2 | 7,977                     | ▲1.6 | 1,236                     | ▲7.8 |
| 5      | 46,155                | 2.5 | 32,543                | 5.9 | -                               | -   | -                         | -    | 1,213                     | ▲7.7 |
| 出所     | 沖縄県銀行協会               |     | 沖縄県銀行協会               |     | 日本銀行那覇支店                        |     | 沖縄振興開発金融公庫                |      | 沖縄県信用保証協会                 |      |

注) 県内金融機関の預金残高は、14年6月分より県内に所在する国内銀行および信用金庫の集計値へ変更になったため遡及改訂した。

なお、県内金融機関の預金残高は実質預金(総預金から切手・小切手を差し引いたもの)の集計値で、年度の残高は年度中の平残。

# りゅうぎん ポイントサービス



ポイント数に応じてサービスいろいろ!

## とくとく特典

### 特典1

ATM時間外  
手数料が **無料!**  
(当行ATM利用時のみ)

### 特典2

当行本支店間の  
振込手数料が **無料!**  
(キャッシュカード使用時のみ)

### 特典3

スーパー定期の  
金利を**上乗せ!**  
(※店頭表示金利+0.05%)

### ポイントサービスとは!

日頃お世話になっているお客様に対し、毎月のお取引内容をポイント化し、その合計ポイントに応じて手数料割引または金利優遇等の特典が受けられるサービスのことをいいます。

シルバーコース **50point**以上

ゴールドコース **100point**以上

エクセレントコース **200point**以上

ポイントサービスのお申込みがまだの方は、店頭のポイントサービス申込み用紙にご記入のうえ、窓口または郵便にてお申込み下さい。



※商品についての詳しいお問い合わせは、りゅうぎん窓口かフリーコールまで。

**0120-19-8689**

琉球銀行 ポイントサービス

<http://www.ryugin.co.jp/>

検索

## 特集レポートバックナンバー

### ■平成26年

- |              |                             |  |              |                             |                                |
|--------------|-----------------------------|--|--------------|-----------------------------|--------------------------------|
| 8月 (No.538)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 沖縄テクノクリート株式会社<br>株式会社 幸  | 7月 (No.549)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | ジェフ沖縄株式会社<br>株式会社あうん堂          |
| 9月 (No.539)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社前田産業<br>天妃前まんじゅう「パーチン屋」<br>特集 宮古アイランドロックフェスティバル<br>2014の経済効果 | 8月 (No.550)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 有限会社喜納住宅開発<br>株式会社FSO          |
| 10月 (No.540) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社照正組<br>株式会社シュガートレイン<br>特集 県内女性の社会進出                          | 9月 (No.551)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 社会医療法人友愛会<br>有限会社日本アイル くだう動物病院 |
| 11月 (No.541) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 沖縄メディカルグループ<br>DIRECT CHINA株式会社<br>特集 県内におけるレンタカー需要の動向           | 10月 (No.552) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社ビッグワン<br>株式会社アイセック・ジャパン    |
| 12月 (No.542) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社新垣通商<br>株式会社グラスアート藍  | 11月 (No.553) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社佐久本工機<br>株式会社食のかけはしカンパニー   |

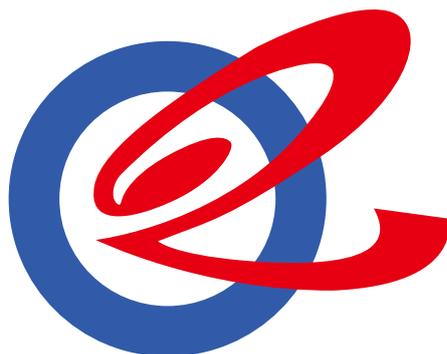
### ■平成27年

- |             |                             |  |              |                             |   |   |
|-------------|-----------------------------|--|--------------|-----------------------------|---|---|
| 1月 (No.543) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 特定医療法人葦の会<br>有限会社水実<br>特集 沖縄県経済2014年の回顧と2015年の展望 | 12月 (No.554) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | まさひろ酒造株式会社<br>安里紅型工房                                      |   |
| 2月 (No.544) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社石垣エスエスグループ<br>有限会社ペンギン食堂                     | ■平成28年       | 1月 (No.555)                 | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur                               | 社会医療法人仁愛会<br>有限会社島袋瓦工場<br>特集 沖縄県経済2015年の回顧と2016年の展望 |
| 3月 (No.545) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 住宅情報センター株式会社<br>株式会社ビザライ                         | 2月 (No.556)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社ジャンボツアーズ<br>あーびゃーんもーゆ琉球月桃                             |   |
| 4月 (No.546) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社久米島の久米仙<br>株式会社ポイントビュール                      | 3月 (No.557)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社前田鶏卵<br>株式会社グランディール<br>特別寄稿 沖縄観光の長期展望                 |   |
| 5月 (No.547) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 学校法人みのり学園<br>株式会社インターナショナル・ローカル                  | 4月 (No.558)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 大晋建設株式会社<br>株式会社エスベレ<br>特別寄稿 那覇空港ハブにおけるアジア諸国との貿易動向(2015年) |   |
| 6月 (No.548) | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社南都<br>的エンタープライズ株式会社                          | 5月 (No.559)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 株式会社徳里産業<br>有限会社石川種麴店                                     |   |
|             |                             |  | 6月 (No.560)  | 経営トップに聞く<br>An Entrepreneur | 医療法人博寿会<br>合同会社キンアグー                                      |   |

皆様の損害保険、生命保険の安心を提供する

ベストパートナーとして、

これからもよろしくお願ひします



株式会社 琉球総合保険サポート

保険代理店業務

損害保険(契約の代理)

大同火災海上保険(株)  
東京海上日動火災保険(株)  
三井住友海上火災保険(株)  
共栄火災海上保険(株)  
損害保険ジャパン日本興亜(株)  
あいおいニッセイ同和損害保険(株)  
エース損害保険(株)  
セコム損害保険(株)  
アニコム損害保険(株)

以上9社の代理店

生命保険(契約の媒介)

日本生命保険(株)  
第一生命保険(株)  
住友生命保険(株)  
ジブラルタ生命保険(株)

明治安田生命保険(株)  
富国生命保険(株)  
メットライフアリコ  
アフラック  
オリックス生命保険(株)  
東京海上日動あんしん生命保険(株)  
三井住友海上あいおい生命保険(株)  
NKSJひまわり生命保険(株)  
三井住友海上プライマリー生命保険(株)  
第一フロンティア生命保険(株)  
ソニー生命保険(株)  
ブルデンシャルジブラルタファイナンシャル生命保険(株)  
エヌエヌ生命保険(株)  
カーディフ生命保険(株)

以上18社の代理店

〒900-0015 那覇市久茂地1丁目6番3号 琉球リースパーキングビル

TEL 098-863-1808 FAX 098-862-6645

URL : <http://www.rsupport.co.jp>

りゅうぎん調査

No.561

平成28年 7月5日発行

発行所：株式会社りゅうぎん総合研究所

〒900-0025 那覇市壺川1丁目1番地9

りゅうぎん健保会館3階

TEL 835-4650 FAX 833-3732

印刷：沖縄高速印刷株式会社